

# LCIEの20年のあゆみ



特定非営利活動法人 産業・環境創造リエゾンセンター

Liaison Center for Creation of Industry & Environment



## 目 次

ごあいさつ	3
お祝いのことば	4
<b>1 発足当初のワーキング活動</b>	<b>5</b>
1-1 エネルギーワーキング	
1-2 資源循環ワーキング	
1-3 環境特区ワーキング	
<b>2 発足当初以降の交流・研究活動</b>	<b>7</b>
2-1 レアメタル回収可能性等研究会	
2-2 リエゾン交流会(主なテーマ)	
2-3 リエゾン交流視察会 (主な視察先)	
2-4 川崎市との「臨海部活性化研究会」 (2018年度からは「臨海部ビジョン・リエゾン研究会」)	
<b>3 川崎市との連携事業等</b>	<b>15</b>
3-1 川崎市との政策懇談会	
3-2 川崎臨海部道路等に関する企業・行政懇談会 (2009年11月に設置)	
3-3 循環型地域社会の形成に向けた環境産業との連携に関する連絡会議	
<b>4 情報発信事業</b>	<b>27</b>
4-1 シンポジウム等の開催	
4-2 共催シンポジウム等の開催	
4-3 展示会等への出展	
<b>5 市民等への臨海部の「見える化」事業</b>	<b>36</b>
5-1 環境・産業交流コーナー (2008年～)	
5-2 市民見学会及び夏休み親子見学会	
5-3 環境出前講座	
<b>6 市民、企業、地域間の交流事業</b>	<b>38</b>
6-1 市民、企業との交流活動	
6-2 他地域との交流活動	
6-3 委員会等への参画	
6-4 受託事業一覧	
<b>7 法人概要</b>	<b>44</b>
7-1 法人設立経緯	
7-2 定款に定める目的及び事業	
7-3 法人会員	
7-4 歴代役員	
7-5 歴代幹事	
<b>8 活動年表</b>	<b>49</b>

## ごあいさつ

特定非営利活動法人 産業・環境創造リエゾンセンター

理事長 足立芳寛

特定非営利活動法人産業・環境創造リエゾンセンターは、2024年8月で設立20周年を迎えます。

ここに、多くの皆様よりご支援をいただきましたことに厚く御礼申し上げます。

川崎臨海部は、1900年初頭から埋め立てが始まり、産業に特化した臨海工業地帯として、長きにわたり日本経済をけん引してきましたが、1990年代になると、環境問題や経済のグローバル化、国の工業制限諸制度等により、遊休地の出現など地域の活力が低下しました。

当センターは、「連携（リエゾン）」をキーワードに、産学官民等でこの状況を克服し、地域経済の活性化と環境調和型まちづくりに資することを目的に、川崎臨海部の立地企業を中心とする13社（現在20社）の有志で、2004年8月にNPO法人として設立いたしました。

設立当初の3年間は、産学官で、資源循環、エネルギーの有効活用を中心とした調査・研究を行い、4年目からは、さらに「連携」を軸とした様々な取組も行ってまいります。

このうち、毎年秋に開催している「コンビナート都市連携シンポジウム」につきましては、学識者による基調講演に加え、川崎臨海部の枠を超え全国各地のコンビナート地区の自治体や企業、団体の方々から事例発表をさせていただいており、企業や自治体関係者にとっては貴重な情報提供の場として機能していると評価をいただいております。

また、リエゾン研究会につきましては、会員企業や関連企業の先進事例の視察、座学としては臨海部に関連する様々なテーマで研修等を行っていますが、特に川崎市が2018年3月に公表した「臨海部ビジョン」の策定過程においては、ほぼ毎月、立地企業の立場から川崎市と議論や意見交換を重ね、集約した意見等はビジョンに多く反映していただいております。

さらに、川崎市とは、当センター役員・会員の関係部局幹部との意見交換を毎年2回開催しているほか、川崎臨海部道路等に関する懇談会や環境産業との連携に関する連絡会議も開催しております。

川崎臨海部は、今、大きく生まれ変わりつつあります。設立当時、遊休地化の懸念があった殿町地区は、既に世界最高水準の研究開発から新産業を創出するオープンイノベーション拠点に生まれ変わっております。

さらに、川崎市では、次の100年に向けて、カーボンニュートラル社会の実現と産業の持続的な発展を両立させ、わが国を代表する次世代産業拠点への進化をめざすことを掲げておりますが、この実現に向けて、当センターも、これまで産官学で取り組んできた懇談会や研究会での調査・研究の蓄積、立地企業や行政さらには市域を超えたコンビナート地域間の連携の取組み、また、その過程で生まれた人的ネットワークなどにより、大いに貢献していきたいと考えております。

本誌は、当センターは設立20年の節目を迎え、これまでの当センターの主な活動を取りまとめたものです。本誌が、川崎臨海部に係る多くの方々の今後の連携活動の参考になれば幸いです。

## お祝いのことば

川崎市長 福田紀彦

特定非営利活動法人産業・環境創造リエゾンセンターの設立 20 周年を心からお慶び申し上げます。

川崎臨海部を中心に活動する貴センターは業種の垣根を超えた企業主体の NPO 法人であり、会員企業の皆様が産業の発展だけでなく地域の活性化を重視し取り組んでこられた点に心から敬意を表します。この精力的な活動が長きにわたり継続されてきた点は川崎臨海部の底力を見る思いです。

2004 年の設立趣旨書に見られる理念「持続可能な社会構築のための産業活動と環境との調和」は、本市が進むべき道でもあり、その重要性は一層増すばかりです。

市制 100 周年を迎えた本市の歴史は臨海部の歴史と言っても過言ではありません。全国有数の大都市へと成長してきた過程でまちの発展と産業を切り離すことはできず、人が集まって産業が生まれるのではなく、産業があるからこそ人が集まってくることも事実です。

市制移行前に「工場誘致は百年の町是」と決議したように、本市は産業とともに歩み続けてきました。浅野総一郎氏による大規模な埋立に市の方針が重なることで臨海部を中心に産業が栄え、川崎出身の方々ばかりではなく全国・海外から多様な人材が集い発展してきました。市域が今の形となったのも、内陸の町村が臨海部を含む川崎への編入を希望したことが理由の一つで、臨海部が創り出す社会的・経済的な豊かさを市内全域が享受する形でまちづくりを進めてきました。

臨海部こそが本市の発展の礎であり市民の暮らしを豊かにしてきた原動力であることは疑いようがありません。

その川崎臨海部は今、二度目の草創期とも言えるような一大転換期に突入しています。

国連が「地球沸騰」と表現したように、気候変動対策は人類にとって突出した最重要課題となり、化石資源を大量使用し炭素で生活してきた川崎臨海部には、化石資源からの脱却という大変革が求められています。

カーボンニュートラル社会の実現は大きな挑戦ですが、この世界的潮流は次なる成長の原動力になると確信しています。川崎臨海部は、これまでも重厚長大産業の拠点でありつつ環境対策に取り組む中で環境技術を進展させ、今では研究開発による先端技術都市へと変貌を遂げるなど、ものづくりの中で新陳代謝を繰り返し時代の最先端産業を創出し続けてきたエリアです。公害問題に苦しんだ時期も企業・市民・行政の三者で連携し、更なる成長につなげてきた川崎には、課題を成長に換えるチャレンジスピリットが根付いています。

何もかもが目まぐるしく変化する激動の時代を歩んでいくにあたり、志を共有する皆様と一致団結してこの大波を乗り越え、カーボンニュートラル社会の実現と産業の持続的な発展を両立させ、我が国を代表する次世代産業拠点へと進化してまいりたいと考えております。

結びに、ともに歩む貴センター並びに会員企業の皆様の益々の御発展を心から御祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

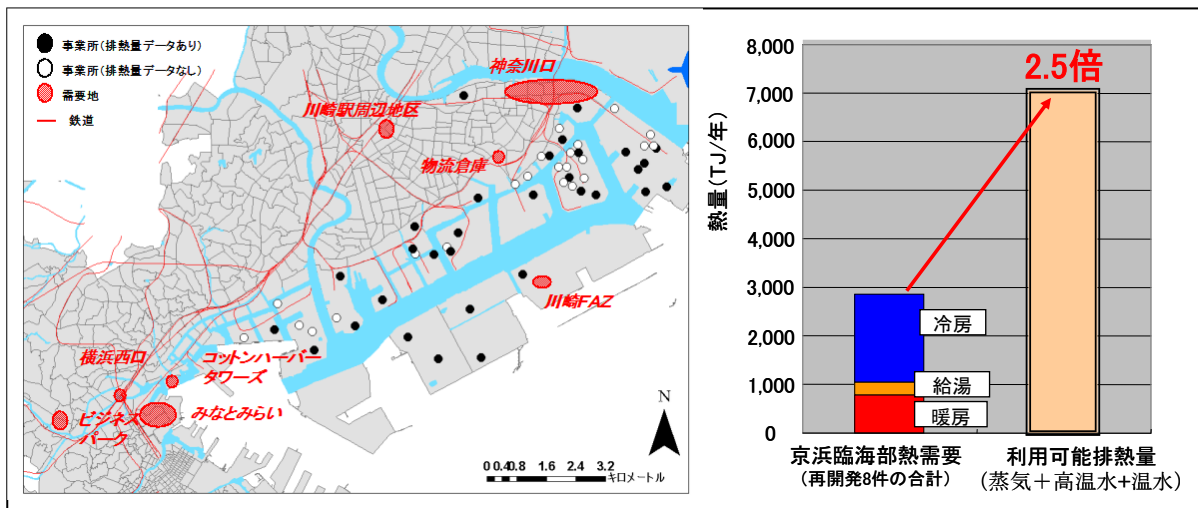
# 1 発足当初のワーキング活動 (2004年～2006年度)

会員企業、川崎市及び学識者で構成する3つのワーキンググループ（「エネルギー」、「資源循環」及び「環境特区」）を設置し、臨海部がもつ資源・エネルギー循環ポテンシャルの地域連携の可能性検討や効果的な緑地形成の提言などを行った。

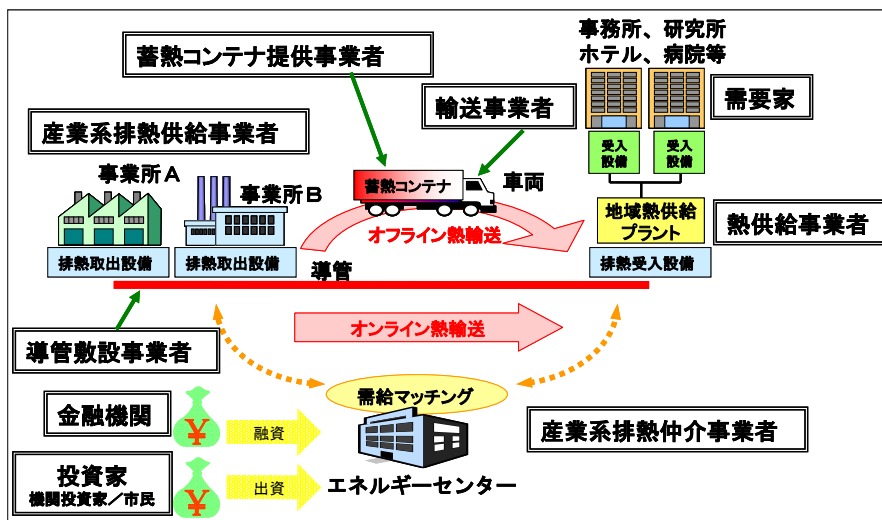
## 1-1 エネルギーワーキング

2004、2005年度に、京浜臨海部の立地企業を対象に産業排熱の民生利用に関する実態調査を実施するとともに、熱の需給マッチング分析、オンライン並びにオフライン熱搬送システムを取りまとめた。2006年度には、京浜臨海部に分散的に賦存する産業排熱等を統合化し、安定供給を可能とする省CO<sub>2</sub>型都市実現のための新たなエネルギーネットワークのあり方を取りまとめるとともに、その実現に向けた事業化ポイントを明らかにした。

■京浜臨海部の未利用排熱の民生利用ポテンシャル調査例



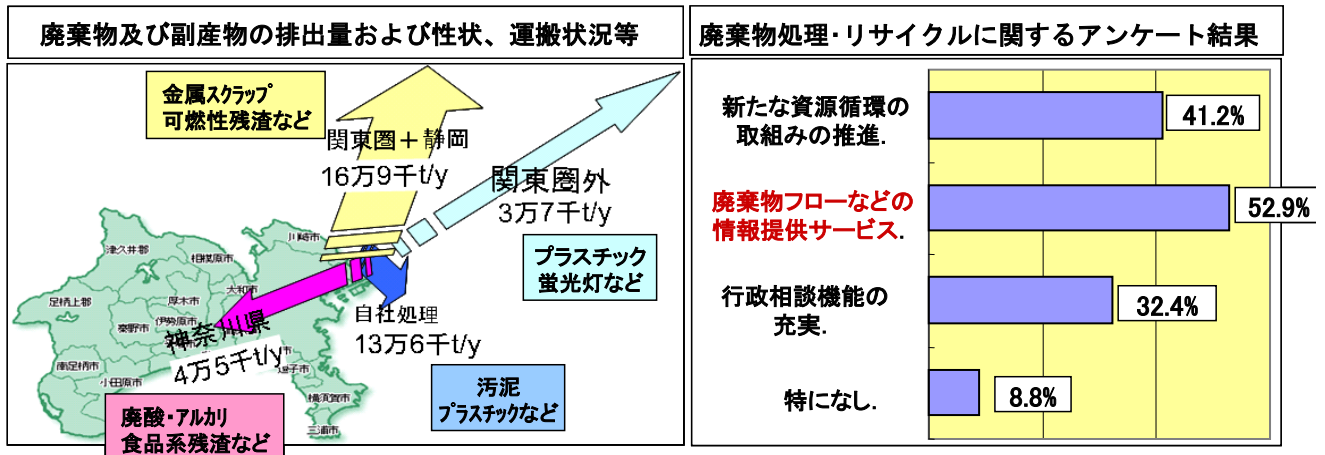
■産業系未利用排熱の民生利用事業形態の分析例



## 1-2 資源循環ワーキング

川崎臨海部の廃棄物発生状況に関する基礎調査を実施するとともに、東洋大学との連携により地理情報データベースを元にインターネットで活用できる資源循環の情報システムのあり方を検討した。また、川崎市の事業者で構成する川崎工業振興倶楽部の会員への資源循環システムの説明会などを実施し、京浜臨海部における資源循環の促進のネットワークの拡大を図った。

■川崎臨海部資源循環実態調査結果例



## 1-3 環境特区ワーキング

産業活性化に向けた仕組みづくりに関する活動として、臨海部の効果的な緑地施策を取り上げ、臨海部立地企業等へのアンケートなどの実施を通じて、2005年度に「臨海部の緑のあり方と産業活性化」についてとりまとめた。その結果を「川崎臨海部再生リエゾン協議会」を通じて川崎市長に提言書として提出した。その後、川崎市において「川崎臨海部工場立地法等緑地関連検討委員会」の設置が決定された。臨海部全体を緑地の集合地特例とすることを盛り込む運用指針が策定され、パブリックコメントが実施されるなど、提言活動が川崎市の施策として結実した。

■臨海部の緑のあり方に関する提言骨子

1. 川崎臨海部の緑化計画の策定とそれに合わせた規制の整備・運用
  - ①臨海部全体の緑化計画を明らかにすること
  - ②重点的に緑化すべき箇所の策定
2. 工場立地法の見直し  
(「効果的な緑の増加」と「事業用地の使い易さの両立」)
  - ①重点的に緑化すべき箇所を共通緑地と位置づけ、企業の「緑地面積」の算定と組み合わせる
  - ②川崎臨海部地域全体を工業集合地として区域指定
3. 特区提案
  - ①川崎臨海部に立地する同一企業の複数事業所、グループ企業事業所全体を一体として算定
  - ②今後新たに緑化する場合に「川崎市緑化指針」の「緑地面積」の算定方法を、工場立地法上の「緑地面積」の算定に適用
4. 臨海部における緑関連規制の整合を図る

## 2 発足当初以降の交流・研究活動

### 2-1 レアメタル回収可能性等研究会（2012年度）

2011年度の会員企業アンケート調査におけるニーズを踏まえて、川崎臨海部企業の製造過程の残渣に含まれる「バナジウム」の回収と有効利用の可能性について4回に亘り検討を行った。検討結果としては、回収可能な量が少ないこと及びバナジウムが含まれる残渣が有効利用されている現状から採算的に困難であるとの結論に達した。

（参加企業）JFE エンジニアリング（株）、JFE テクノリサーチ（株）、昭和電工（株）  
（株）デイ・シイ、東亜石油（株）、東燃ゼネラル石油（株）

### 2-2 リエゾン交流会（主なテーマ(講師)）

#### ☆2007年度

- 第1回(7月24日) 「リエゾン推進協議会からの緑関連提案に対する取組み及び臨海部再生プログラムの見直し」 小山孝氏（川崎市経済局）
- 第2回(9月27日) 「エココンビナートと京浜臨海部への期待」 足立芳寛氏（東京大学大学院教授）
- 第3回(11月22日) 「神奈川口計画と臨海部の交通対策について」 小林延秀氏（川崎市総合企画局）
- 第4回(12月20日) 「東扇島広域防災拠点計画と臨海部の防災対策」 片山昭氏（川崎市港湾局）  
「神奈川県温暖化対策推進条例（仮称）」 伊藤靖志氏（神奈川県環境農政部）

#### ☆2008年度

- 第1回(4月10日) 「臨海部の土地利用計画と課題」 小林延秀氏（川崎市総合企画局）  
「神奈川県温暖化対策推進条例（仮称）」 伊藤靖志氏（神奈川県環境農政部）
- 第2回(7月10日) 「今後の我が国の地球温暖化対策と臨海部企業への期待」  
小井沢和明氏（(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構理事）  
「温室効果ガス分解処理設備の設置」 片村浩一氏（昭和電工（株）川崎製造所）
- 第3回(9月11日) 「川崎臨海部のエココンビナート構想の取組みの対する海外の反響と今後の期待」  
平尾光司氏（専修大学経済学部教授）  
「産業排熱のオフラインによる民生利用モデル化事業」  
中丸正氏（地域社会パートナーズ（株））
- 第4回(12月18日) 「廃棄物処理法の変遷と循環型社会への展望ー京浜臨海部企業への期待ー」  
由田秀人氏（前環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部長）

#### ☆2009年度

- 第1回(4月23日) 「川崎市地球温暖化対策条例の骨子案」 牧葉子氏（川崎市環境局）
- 第2回(7月13日) 「低炭素社会に向けた展望とハードル」 柳下正治氏（上智大学大学院教授）
- 第3回(9月3日) 「川崎市及び横浜市の地球温暖化対策条例と臨海部企業への期待」  
佐土原聡氏（横浜国立大学大学院教授）  
「神奈川県地球温暖化対策推進条例の施行細則並びに指針（案）」  
伊藤靖志氏（神奈川県環境農政局）

#### ☆2010年度

- 第1回(4月22日) 「水江町進出計画と臨海部企業への期待」 郷内敏夫氏（エリーパワー(株)執行役員）  
「神奈川県地球温暖化対策基本計画について」 小碓聡史氏（神奈川県環境農政局）
- 第2回(7月15日) 「川崎水江町進出計画と臨海部企業への期待」  
山崎浩氏（第一高周波(株)京浜事業所所長）



- 「臨海部の森構想について」 萩原茂氏（川崎市建設緑政局）
- 第3回(9月7日) 「川崎バイオマス発電計画と臨海部企業への期待」  
村上弘夫氏（川崎バイオマス発電(株)所長）
- 「国際コンテナ戦略港湾の指定と今後の川崎港の具体的な展開について」  
内藤誠一郎氏（川崎市港湾局）
- 第4回(12月22日) 「川崎発ベンチャー企業の環境技術による世界一の発信」  
渡邊敏幸氏（イスマンジェイ(株)代表取締役）
- 「川崎市地球温暖化対策推進条例施行に伴う事業活動に係る計画書提出状況等」  
原美由紀氏（川崎市環境局）

#### ☆2011年度

- 第1回(7月6日) 「(仮称)かわさきエコ暮らし未来館」の概要と協力依頼について」  
弓田茂氏（川崎市環境局）

#### ☆2012年度

- 第1回(4月26日) 「地球温暖化をめぐる国内外の動向」  
岩切俊一氏（経済産業省 前環境調和産業推進室長）
- 第2回(7月19日) 「かわさきファズ(株)の概要説明と冷凍設備等の視察」  
松下孝則氏（かわさきファズ(株) 総務部長）

#### ☆2013年度

- 第1回(8月9日) 「京葉臨海コンビナート保安人材育成講座の内容紹介」  
千葉県産業振興センター

#### ☆2014年度～2015年度 視察会を実施

#### ☆2016年度

- 第1回(6月9日) 「産業災害の背景 要因と保安力向上」  
特定非営利活動法人安全工学会保安力向上センター長 若倉正英氏
- 第2回(12月8日) 「川崎臨海部の防災・避難対策等について」  
東京大学大学院総合防災情報研究センター長・教授 田中淳氏  
京都大学防災研究所総合防災研究グループ教授 小野憲司氏  
国土交通省港湾局海岸・防災課長 村岡猛氏  
国土交通省港湾局海岸・防災課危機管理室長 佐瀬浩市氏

#### ☆2017年度から2018年度 臨海部地域等の先進事例等について視察会を実施した。

#### ☆2020年度

コロナウイルス感染防止に配慮し、以下のとおりオンライン視察説明会を開催した。

＜オンラインによる脱水素実証施設説明会＞

- ・開催方法 Microsoft Teams を使用した Web による視察説明会
- ・説明内容 国際間水素サプライチェーン実証事業概要  
脱水素プラント@川崎プラントの説明
- ・説明者 次世代水素エネルギーチェーン技術研究組合

#### ☆2021年度

- 第1回(Web 会議形式での開催) 8月27日

「災害時の外部電源切替装置設置」 東京電力パワーグリッド(株)より発表

「IoT を活用した共同防災業務、計器監視ソリューション等」 総合警備保障(株)より発表

第2回(Web 会議形式での開催) 9月29日

「カーボンニュートラルに貢献する VOCs 排ガス処理装置 GASTAK」 (株)クレハ環境より発表

第3回(Web 会議形式での開催) 12月9日

「CO2 ネット・ゼロに向けた東京ガスグループの取組み」 東京ガス(株)より発表

第4回(Web 会議形式での開催) 2月2日

「脱炭素社会に貢献する創エネ型汚泥焼却炉 (odySSEA) システム」 JFE エンジニアリング(株)より発表

第5回(Web 会議形式での開催) 3月17日

「浜銀総合研究所における企業の SDGs への取組支援」 (株)浜銀総合研究所より発表

#### ☆2022 年度

第1回(Web 会議形式での開催) 11月22日

「ドローンによる検証飛行導入について」 東亜石油(株)より発表

「センシンロボティクスにおけるドローン等を用いた業務プロセス改革の取組みについて」

(株)センシンロボティクスより発表

「京浜臨海部コンビナート高度化等検討会議におけるドローン飛行計画書検討ワーキンググループの取組みについて」 神奈川県政策局自治振興部地域政策課より発表

#### ☆2023 年度

第1回(3月13日)

「事業活動脱炭素化取組計画書・報告書制度について」

加藤剛史氏 (川崎市環境局脱炭素戦略室 担当課長)

### 2-3 リエゾン交流視察会 (主な視察先・テーマ)

#### ☆2009 年度

第1回(1月28日) 工場等視察研修

「川崎臨海部における藻場実証試験場」、東亜石油(株)「京浜製油所水江工場」

#### ☆2011 年度

第1回(9月26日) 昭和電工(株)「使用済みプラスチックのアンモニア原料化」施設見学

千葉県臨海南部工業地帯工場連絡協議会との節電対策意見交換会

第2回(1月20日) 「柏の葉国際キャンパスタウン構想(千葉県柏市)」の視察、研修

#### ☆2012 年度

第1回(7月19日) 「川崎港及び臨海コンビナート」の海からの視察と「かわさき FAZ」の見学

第2回(8月20日) 「鹿島コンビナート復興状況及び洋上風力発電施設」の視察研修

#### ☆2013 年度

第1回(4月24日) 工場等視察研修

東京ガス(株)「扇島工場」、東京電力(株)「旭発電所 高温超電導実証試験場」

第2回(8月9日) 「東京湾臨海部広域防災拠点」の視察研修

第3回(12月17日) 工場等視察研修

千代田化工建設(株)「子安オフィス・リサーチパーク:ケミカルハイドライドシステム実証化プラント(水素供給事業)」、昭和電工(株)「大川町工場 LED 植物工場」



2013 年度東京ガス(株)扇島工場視察



2013 年度臨海部広域防災拠点視察

### ☆2014 年度

第 1 回(4 月 22 日) 工場等視察研修

(株)東芝「スマートコミュニティセンター・東芝未来科学館」、  
ヤマトホールディングス(株)「羽田クロノゲート」

第 2 回(8 月 26 日) 工場等視察研修

川崎バイオマス発電(株)「川崎バイオマス発電所」  
全日本空輸(株)「ANA 殿町ビジネスセンター」の視察研修

第 3 回(2 月 17 日) 工場等視察研修

花王(株)「川崎工場」、東京電力(株)「川崎火力発電所」(川崎区千鳥町)

### ☆2015 年度

第 1 回(4 月 22 日) 工場等視察研修

日鉄鉱業(株)「栃木事業所」(栃木県佐野市仙波町)

第 2 回(年 8 月 29 日～30 日)

富山県氷見市 浅野総一郎生誕地、浅野総一郎翁資料展示館「帰望郷館」、  
「NPO 法人九転十起の会」との交流会他

第 3 回(2 月 9 日) 工場等視察研修

(株)デイ・シイ「川崎工場」(川崎区浅野町)  
ナノ医療イノベーションセンター (iCONM) (川崎区殿町)



2015 年度浅野総一郎生誕地視察



2016 年度東京電力(株)横浜火力発電所視察

## ☆2016年度

### ☆第1回(4月20日)工場等視察研修

東燃ゼネラル石油(株)「川崎工場」(川崎区浮島町)

(株)クレハ環境「ウェステックかながわ」(川崎区千鳥町)

### 第2回(8月25日)工場等視察研修

岩谷産業(株)「イワタニ水素ステーション芝公園」(東京都港区芝公園)

### 第3回(2月7日)

東京電力フュエル&パワー(株)「横浜火力発電所」(横浜市鶴見区大黒町)

## ☆2017年度

### 第1回(4月17日)工場等視察研修

(株)クレハ環境「本社・ウェステックいわき」(福島県いわき市錦町)

### 第2回(8月29日)周辺臨海部施設等視察研修

「羽田空港JAL羽田貨物基地」(日本通運(株)関連)(東京都大田区羽田空港)

### 第3回(2月16日)工場等視察研修

JFEプラントエンジニアリング(株)「安全工事体感訓練センター」(川崎区池上新町)

昭和電工(株)「川崎事業所(大川)植物研究棟・蒸気海底トンネル」(川崎区大川町)

## ☆2018年度

### 第1回(4月19日)周辺臨海部施設等視察研修

JXTGエネルギー(株)「横浜綱島水素ステーション・スイソテラス」(港北区綱島東)

### 第2回(8月28日)市内産業支援施設等視察研修

「川崎市コンベンションホール」、日本電気(株)「玉川事業場9号館」(中原区下沼部)

### 第3回(1月29日)工場等視察研修

東亜建設工業(株)「技術研究開発センター」(鶴見区安善町)

## ☆2019年度

### 第1回(4月11日)周辺臨海部施設等視察研修

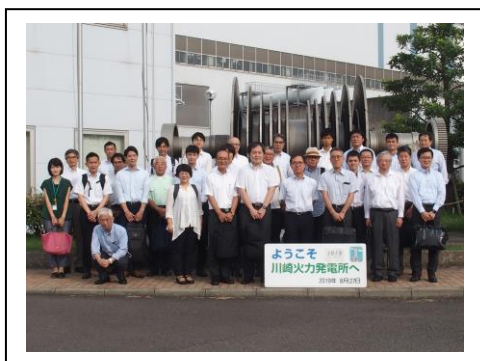
東京ガス(株)「扇島LNG基地」、(株)扇島パワー(横浜市鶴見区)

### 第2回(8月27日)工場等視察研修

(株)JERA「川崎火力発電所」(川崎区千鳥町)

### 第3回(1月23日)工場等視察研修

JFEスチール(株)「東日本製鉄所京浜地区」(高炉・厚板工場)(川崎区扇島)



2019年度(株)JERA川崎火力発電所視察



2019年度JFEスチール(株)東日本製鉄所京浜地区視察

☆2020年度 コロナ禍のため視察会は実施しなかった。

#### ☆2021年度

第1回(4月14日) かわさき新産業創造センター(幸区新川崎 新川崎創造のもり)訪問

ロボット+AIで工場・プラントや建設現場などで点検・検査、監視業務などをサポートする企業(イクシス(株))からのプレゼンテーション並びにかわさき新産業創造センター事業概要並びにマッチング事業の説明を受け意見交換を行った。

#### ☆2022年度

第1回(4月26日) JFEスチール(株)東日本製鉄所京浜地区視察

現況の土地利用と2023年に予定している高炉休止等に伴う動向について情報共有を図った。

第2回(7月20日) 羽田イノベーションシティ内「PiO PARK」視察・交流会

多摩川の対岸に立地する羽田イノベーションシティを視察し、施設概要とともに大田区のものづくり産業の特徴、大田区産業振興協会による企業マッチング支援について情報共有を図った。併せて大田区内の超専門加工技術のミニ展示会を視察した。

#### ☆2023年度

第1回(7月26日) 東京ガスネットワーク(株)技術研究所及び東京ガス横浜テクノステーション

メタネーション研究及び安全管理について情報共有を図った。

第2回(8月23日) JFEスチール(株)南渡田地区(京浜ビル屋上・入居テナント・敷地内等)

同地区の現況とともに「南渡田地区拠点整備基本計画」について説明を受け同地区の現況及び整備計画について情報共有を図った。

第3回(2月14日) ENEOS(株)川崎製油所視察

同製油所構内を視察し、同製油所の概要説明を受け情報共有を図った。

## 2-4 川崎市との「臨海部活性化研究会」

### (2018年度からは「臨海部ビジョン・リエゾン研究会」)

2012年度に川崎臨海部の主要課題の調査・検討を行い臨海部の今後の発展と情報発信の強化を目的に、臨海部国際戦略室と幹事会メンバー、専務理事、主任研究員による「臨海部活性化研究会」を発足した。検討案件によっては経済労働局国際経済推進室、環境局地球環境推進室も加わって協議、検討をした。

#### ☆2012年度

月1回の頻度で川崎市の緊急課題である「臨海部の防災計画の策定」に向けた「臨海部の防災対策」を中心に協議・検討を行った。その成果として、2012年11月に「川崎臨海部防災協議会」(14企業・団体、川崎市6局・区で構成:企業会員7社と当NPO事務局が参加)が発足した。さらに、川崎市初の「川崎市臨海部防災対策計画」の策定に向け、災害時情報の把握や伝達の方法、避難場所の確保等について議論を行った。

#### ☆2013年度

主に2013年4月に策定された「川崎市臨海部防災対策計画」に基づく広域防災訓練、情報受伝達訓練等についてほぼ月1回の頻度で協議、検討を行った。(2014年3月18日に第1回川崎臨海部広域防災訓練を実施)

## 【2014年度から「臨海部ビジョン・リエゾン研究会」として活動】

### ☆2014年度

川崎臨海部防災訓練、かわさきグリーンイノベーション、川崎臨海部再生リエゾン推進協議会、川崎臨海部再生プログラムについて、ほぼ月1回の頻度で協議、検討を行った。

### ☆2015年度

主に川崎臨海部再生プログラムの実施状況、川崎市国土強靱化地域計画、川崎臨海部の防災対策、川崎臨海部の交通政策、川崎市の工業用水、川崎市の緑化施策、各企業の保安・安全対策及び（仮称）臨海部ビジョンについてはほぼ月1回の頻度で協議、検討を行った。

### ☆2016年度～2017年度

2016年度からは全会員企業に呼びかけ、ほぼ月1回の頻度で「（仮称）臨海部ビジョン」の検討を進めた。



2017年度 臨海部ビジョン研究会

### ☆2018年度

ほぼ毎月1回の頻度で全会員企業に呼びかけ「臨海部ビジョン」の直近10年以内に取り組む13のリーディングプロジェクトの検討に取り組んだ。

また、川崎市から「新たな環境基本計画の策定のためのワークショップ」について参加協力依頼があり、11月の研究会では、初めての試みとして、「2050年の川崎市の姿を見据えながら『かわさきのミライの環境』を考えるワークショップ」を開催した。

### ☆2019年度から2020年度

「臨海部ビジョン」で、直近10年以内に取り組むと位置付けた「リーディング・プロジェクト」中から2019年度は「臨海空間を活かした地域活性化プロジェクト」、「働きたい環境づくりプロジェクト」、「企業活動見える化プロジェクト」、「災害対応力向上プロジェクト」の4つのプロジェクトについて、ほぼ毎月開催される各プロジェクトのグループ討議に会員企業が参加して具体的な取り組みに向けて議論を進めた。

なお2020年度は新型コロナウイルス感染状況により、感染が落ち着いた時期には感染対策をとった会場での開催、感染が広がった時にはMicrosoft Teamsを利用したWebによる会議開催とした。いずれもグループ討議等により具体的な取り組みに向けての議論を深めた。





2020 年度臨海部ビジョン研究会



2020 年度オンラインによる研究会

### ☆2021 年度

2021 年度は、「リーディングプロジェクト」の中から、「川崎カーボンニュートラルコンビナート構想」、「働きたい環境づくりの交流会の進め方」、「地域連携 BCP(防災)とりまとめ報告」、「世界に誇れる人材育成プロジェクト」、「働きたい環境づくり～共同保育所の整備」、「働きたい環境づくり～企画交流会の検討」について協議を行うとともに、次年度の研究会の進め方について検討を行った。なお、新型コロナウイルス感染状況により、感染対策をとった会場での開催、Microsoft Teams を利用した Web による会議を併用して開催した。いずれもグループ討議等により具体的な取り組みに向けての議論を深めた。

### ☆2022 年度

臨海部ビジョンのリーディングプロジェクト改定に向けたて、川崎市臨海部国際戦略本部から「臨海部ビジョン」リーディングプロジェクトについての検討状況を報告いただくとともに、①産業競争力の強化・人材育成、②カーボンニュートラルの推進、③働きやすく暮らしやすい環境づくり、④交通機能の強化、快適な交通アクセスの実現、⑤災害対応力の向上の5つのテーマに沿ってワークショップを行なうとともに臨海部ビジョン改定内容について意見交換を行った。

### 3 川崎市との連携事業

#### 3-1 川崎市との政策懇談会

会員企業と川崎市の臨海部施策を推進する各部署の幹部職員との意見交換、懇親の場を設けた。

##### ☆2008 年度

◇第1回(10月6日)

○川崎市各局から以下の情報提供があり、会員企業と意見交換、懇親の機会を設けた。

総合企画局： 臨海部の取組みについて

経済労働局： 川崎市知的財産戦略について

環境局： CCかわさきの取組みについて

港湾局： 京浜3港広域連携に係る3首長会議会談について

まちづくり局： 川崎駅周辺総合整備計画について

◇第2回(2月20日)

○川崎市総合企画局、経済労働局、環境局、港湾局、まちづくり局から2009年度の各局の臨海部関連の事業予算について説明を受けるとともに情報提供があり、会員企業と意見交換、懇親の機会を設けた。

総合企画局： 「土地利用誘導ガイドライン」の見直し結果

環境局： (仮)温暖化対策条例」の検討内容

##### ☆2009 年度

◇第1回(10月9日)

○川崎市各局から以下の情報提供があり、会員企業と意見交換、懇親の機会を設けた

総合企画局： 臨海部の再整備・開発動向

経済労働局： 臨海部における企業立地動向

環境局： 温暖化対策条例の制定及び実行計画の策定動向

港湾局： 製鋼スラグを用いた藻場造成によるCO<sub>2</sub>固定化技術と臨海部実証モデル事業

まちづくり局： 川崎駅周辺における主な事業状況と東口駅前広場再生整備

建設局： 高速川崎縦貫線、京浜急行大師線連続立体交差事業、川崎駅東口周辺地区の動向

◇第2回(2月22日)

○川崎市総合企画局、経済労働局、環境局、港湾局、まちづくり局から2010年度の各局の臨海部施策関連の事業予算について説明を受けるとともに今後の臨海部活性化について活発な意見交換を行った。

##### ☆2010 年度

◇第1回(10月5日)

○川崎市各局から以下の情報提供があり、会員企業と意見交換、懇親の機会を設けた。

総合企画局： 国際戦略総合特区構想

経済労働局： 川崎市緊急経済対策

環境局： 川崎市地球温暖化対策推進基本計画、次世代エネルギーパーク構想

港湾局： 東扇島総合物流拠点地区の2期募集

まちづくり局： 川崎駅周辺における主な事業状況

建設局： 川崎縦貫線の開通

○会員企業の情報提供

(株)デイ・シイから低収縮型高炉セメントA種について情報提供をいただいた。

◇第2回(2月8日)



○川崎市各局から以下の情報提供があり、会員企業と意見交換、懇親の機会を設けた。

総合企画局： 国際競争拠点形成戦略会議、浮島1期地区恒久的土地利用

経済労働局： かわさき産業振興プラン

環境局： 低CO2川崎パイロットブランド10、事業活動地球温暖化対策計画書

港湾局： 臨港道路東扇島水江町線

まちづくり局：川崎東口駅前広場・再編整備事業

建設局： 川崎臨港警察署前交差点交通円滑化対策

○会員企業等からの情報提供

(株)デイ・シイより「コンクリート舗装の活用」について情報提供いただくとともに事務局より会員企業20社のヒアリング結果について報告を行った。



川崎市との政策懇談会



川崎市との政策懇談会

## ☆2011年度

第1回(10月11日)

○川崎市各局から以下の情報提供があり、会員企業と意見交換、懇親の機会を設けた。

総合企画局： 京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区、産業道路駅前バスバースの供用

経済労働局： 環境ショーウインドウ事業、工場立地法の改正、電力不足対策

環境局： 地球温暖化対策計画の結果報告書

港湾局： 東日本大震災に伴う港湾施設等の影響調査結果、国際コンテナ戦略港湾の取組み

まちづくり局：東日本大震災後のまちづくり局の主な取組み

建設緑政局： 高速道路の料金体系の見直し

○会員企業等からの情報提供

昭和電工(株)から「リチウムイオン二次電池の正・負極添加剤(VGCF)の生産増強」について情報提供をいただくとともに、会員企業の「災害時の事業継続に関する課題・要望」アンケート結果について報告をした。

◇第2回(2月16日)

○川崎市総合企画局、経済労働局、環境局、港湾局、まちづくり局、建設緑政局から2012年度の各局の臨海部施策関連の事業予算について説明を受けるとともに今後の臨海部活性化施策について活発な意見交換を行った。

○会員企業からの情報提供

東燃ゼネラル石油(株)より「エクソンモービル(有)の持分取得及びエクソンモービルコーポレ

イノベーションとの新たな関係」及び旭化成ケミカルズ(株)より「横断的な素材開発による世界最先端の拠点を  
目指した研究開発棟（川崎イノベーションセンター）の新設」について情報提供をいただいた。

## ☆2012 年度

◇第 1 回(10 月 19 日)

○川崎市各局から以下の情報提供があり、会員企業と意見交換、懇親の機会を設けた。

総合企画局： 殿町国際戦略拠点キングスカイフロント、科学雑誌「nature」への川崎特集掲載

経済労働局： NANOVIC クリーンルーム棟、企業の海外展開支援、環境産業フォーラム

環境局： 川崎環境ショーウインドウ事業

港湾局： 東扇島クリーン大作戦、臨港道路東扇島水江町線の進捗状況

まちづくり局：多摩川リバーサイド地区の計画

建設緑政局： 臨海部の道路冠水対策の推進

上下水道局： 上下水道分野の国際展開とかわさき水ビジネスネットワーク

○会員企業からの情報提供

味の素(株)より「カーボンフットプリント値（CFP）認証の取組」及び東燃ゼネラル石油(株)より「企業間連携を通じた水素の有効活用による CO2 排出量の削減」について情報提供をいただいた。

◇第 2 回(2 月 7 日)

○川崎市総合企画局、経済労働局、環境局、港湾局、まちづくり局、建設緑政局から 2013 年度の各局の臨海部施策関連の事業予算並びに各局の臨海部活性化施策について説明を受け意見交換を行った。

○会員企業からの情報提供

東京電力(株)より「超電導送電の実証試験の開始」「川崎火力発電所 2 号系列 2 軸・3 軸設備計画」及び「浮島太陽光の実績」について情報提供をいただいた。

富士電機(株)より「単機最大容量地熱タービン・タービン発電機（低 CO2 川崎ブランド 2012 大賞）」について情報提供をいただいた。

## ☆2013 年度

◇第 1 回(11 月 14 日)

○川崎市各局から以下の情報提供があり、会員企業と意見交換、懇親の機会を設けた。

総合企画局： 殿町国際戦略拠点キングスカイフロントの集積状況、国家戦略特区への提案

経済労働局： 川崎国際環境技術展 2014、ウエルフェアイノベーション

環境局： 放射線安全対策の推進、産業道路のクリーンライン

港湾局： 臨港道路東扇島水江町線、港湾の防災・減災対策、新規コンテナ定期航路

まちづくり局：川崎駅周辺に係る開発動向

建設緑政局： 臨海部の道路冠水対策の推進と橋梁の耐震対策状況

○会員企業からの情報提供

JFE スチール(株)より「スマートコンビナートへの提案」、JX 日鉱日石エネルギー(株)より「地域に根ざした社会貢献活動」、昭和電工(株)より「プラスチックの分別について」情報提供をいただいた。

◇第 2 回(2 月 7 日)

○川崎市総合企画局、経済労働局、環境局、港湾局、まちづくり局、建設緑政局から 2014 年度の各局の臨海部施策関連の事業予算並びに各局の臨海部活性化施策について説明を受け意見交換を行った。

○会員企業からの情報提供

J F E エンジニアリング(株)より「快適社会創造に向けての取組み」について情報提供をいただいた。

## ☆2014 年度

第 1 回(11 月 26 日)

○川崎市各局から以下の情報提供があり、会員企業と意見交換、懇親の機会を設けた。

総合企画局： 羽田連絡道路の取組状況、再生可能エネルギーと水素を用いた自立型エネルギー供給システム

環境局： 2013 年度大気環境及び水環境の状況等

まちづくり局：川崎駅周辺地区の開発動向等

建設緑政局： 首都高速道路の更新計画

港湾局： 港湾の防災・減災、臨港道路東扇島水江町線の整備促進」新規コンテナ定期航路

経済労働局： 川崎国際環境技術展 2015、グリーンイノベーションの取組

○会員企業からの情報提供

昭和電工(株)より「小中学校への出前授業等による環境教育・科学教育」及び J F E 環境(株)より「廃プラスチック油化ビジネスに係る FS 調査事業」について情報提供をいただいた。

◇第 2 回(3 月 23 日)

○川崎市総合企画局、経済労働局、環境局、港湾局、まちづくり局、建設緑政局から 2015 年度の各局の臨海部施策関連の事業予算並びに各局の臨海部活性化施策について説明を受け意見交換を行った。

○会員企業からの情報提供

J F E プラリソース(株)より「容器包装プラスチックのリサイクル」について情報提供をいただいた。

## ☆2015 年度

◇第 1 回(11 月 25 日)

○川崎市各局から以下の情報提供があり、会員企業と意見交換、懇親の機会を設け川崎市関係局幹部との活発な意見交換を行った。

総合企画局： キングスカイフロント・羽田連絡道路、スマートシティの取組

環境局： 大気環境の状況等、川崎市における地球温暖化対策の推進

まちづくり局：羽田空港の機能強化・小田栄新駅の整備等

建設緑政局： 首都圏の高速道路の料金体系

港湾局： 臨港道路東扇島水江町線の整備促進、新規コンテナ定期航路

経済労働局： 川崎国際環境技術展 2016、グリーンイノベーションクラスター

○会員企業からの情報提供

味の素(株)より「飼料用アミノ酸リジン」及び東京ガス(株)より「東京ガスグループの取組」について情報提供をいただいた。

◇第 2 回(3 月 22 日)

○川崎市総合企画局、経済労働局、環境局、港湾局、まちづくり局、建設緑政局から 2016 年度の各局の臨海部施策関連の事業予算並びに各局の臨海部活性化施策について説明を受け意見交換を行った。

○会員企業からの情報提供

J F E スチール(株)より「J F E の防災対策技術」及び東燃ゼネラル石油(株)より「災害対応・強靱化への取組」について情報提供をいただいた。

## ☆2016 年度

第 1 回(11 月 25 日)

○川崎市各局から以下の情報提供があり、会員企業と意見交換、懇親の機会を設け川崎市関係局幹部

との活発な意見交換を行った。

- 環境局： 「川崎市地球温暖化対策基本計画」の改定  
まちづくり局： 羽田空港のさらなる機能強化、川崎駅周辺地区・北口自由通路等整備事業  
港湾局： 臨海部防災・減災対策、臨港道路東扇島水江町線整備促進、川崎みなと祭り  
臨海部国際戦略本部： 臨海部ビジョン、キングスカイフロントの拠点形成の状況、水素社会の実現に向けた川崎水素戦略  
建設緑政局： 羽田連絡道路事業概要、国道 357 号の整備状況、首都高速大師橋の大規模更新  
経済労働局： 川崎国際環境技術展 2017、かわさきグリーンイノベーションクラスタの取組

○会員企業からの情報提供

東京電力パワーグリッド(株)より「川崎火力発電所リプレース工事完了」について情報提供をいただいた。

◇第 2 回(3 月 21 日)

○川崎市環境局、まちづくり局、建設緑政局、港湾局、臨海部国際戦略本部、経済労働局から 2017 年度の各局の臨海部施策関連の事業予算並びに各局の臨海部活性化施策について説明を受け意見交換を行った。

○会員企業からの情報提供

旭化成(株)より「旭化成の CO2 フリー水素製造用アルカリ水電解システムのご紹介」及び(株)クレハ環境より「クレハ環境の会社概要及び今後の川崎臨海部における取組」について情報提供をいただいた。

☆2017 年度

◇第 1 回(11 月 16 日)

○川崎市各局から以下の情報提供があり、会員企業と意見交換、懇親の機会を設け役員・会員企業と川崎市関係局幹部との活発な意見交換を行った。

- 環境局： 川崎市地球温暖化対策推進基本計画の改定の考え方  
まちづくり局： 南武線混雑緩和に向けたオフピーク通勤の実験的取組  
建設緑政局： 羽田連絡道路について、国道 357 号多摩川トンネルの整備状況  
港湾局： 川崎港港湾計画(2014 年 11 月改訂)、広域連携による物流拠点の形成  
臨海部国際戦略本部： 臨海部ビジョン、キングスカイフロントの拠点形成の状況、水素社会の実現に向けた川崎水素戦略  
経済労働局： 川崎国際環境技術展 2018、かわさき産業振興プラン第 2 期実行プログラム

○会員企業からの情報提供

J F E 鋼板(株)及び J F E アーバンリサイクル(株)より「会社概要」について情報提供いただいた。

◇第 2 回(3 月 19 日)

○川崎市環境局、まちづくり局、建設緑政局、港湾局、臨海部国際戦略本部、経済労働局から 2018 年度の各局の臨海部施策関連の事業予算並びに各局の臨海部活性化施策について説明を受け意見交換を行った。

○会員企業からの情報提供

東亜石油(株)より「会社概要」及び東亜建設工業(株)より「自然と人との調和を目指して」について情報提供をいただいた。

## ☆2018 年度

第 1 回(11 月 15 日)

○川崎市各局から以下の情報提供があり、会員企業と意見交換、懇親の機会を設け役員・会員企業と川崎市関係局幹部との活発な意見交換を行った。

- 環境局： 「事業活動地球温暖化対策指針」の変更、マイクロプラスチックに関する動向  
まちづくり局： 川崎駅周辺地区の取組状況について  
建設緑政局： 京急大師線連続立体交差事業の事業概要、羽田連絡道路の工事、川崎縦貫道路と外環道（東名～湾岸間）の検討状況、シェアサイクル実証試験の実施  
港湾局： 最近の川崎港の動向について  
臨海部国際戦略本部： 臨海部の活性化推進、国際戦略拠点の整備推進について  
経済労働局： 第 11 回川崎国際環境技術展、新川崎・創造のもり A I R B I C について

○会員企業からの情報提供

日本通運(株)より「日本通運のご紹介」及び東京電力エナジーパートナー(株)より「東京電力エナジーパートナーのご紹介」について情報提供をいただいた。

◇第 2 回(3 月 19 日)

○川崎市環境局、まちづくり局、建設緑政局、港湾局、臨海部国際戦略本部、経済労働局から 2019 年度の各局の臨海部施策関連の事業予算並びに各局の臨海部活性化施策について説明を受け意見交換を行った。

○会員企業からの情報提供

(株)浜銀総合研究所より「浜銀総合研究所の紹介」及び J X T G エネルギー(株)より「川崎地区における組織の一体化について」情報提供をいただいた。



川崎市との政策懇談会



川崎市との政策懇談会

## ☆2019 年度

◇第 1 回(10 月 24 日)

○川崎市各局から以下の情報提供があり、会員企業と意見交換、懇親の機会を設け役員・会員企業と川崎市関係局幹部との活発な意見交換を行った。

- まちづくり局： 川崎駅周辺地区の取組状況について  
建設緑政局： 羽田連絡道路の事業進捗、東京外郭環状道路（東名高速～湾岸道路間 計画検討協議会）、都市計画道路殿町羽田空港線他道路築造工事について  
港湾局： 最近の川崎港の動向について

臨海部国際戦略本部： 臨海部の活性化推進、臨海部ビジョンの進捗状況について  
経済労働局： 第 12 回川崎国際環境技術展、知的財産交流事業について

○会員企業からの情報提供

味の素(株)より「川崎エリアの動向について」及び J&T 環境(株)より「事業統合の狙いと事業領域等について」情報提供をいただいた。

◇第 2 回(3 月 24 日)

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、会員に対して書面により川崎市各局・本部(環境局・まちづくり局・建設緑政局・臨海部国際戦略本部・経済労働局)から「臨海部関連計画の進捗状況」及び「2020 年度予算概要」等についての情報提供を行なった。

## ☆2020 年度

◇第 1 回(11 月 9 日)

○川崎市各局から以下の情報提供があり、会員企業と意見交換の機会を設け役員・会員企業と川崎市関係局幹部との活発な意見交換を行った。

環境局： 脱炭素戦略「かわさきカーボンゼロチャレンジ 2050(案)」、  
「川崎市プラスチック資源循環への対応方針(案)」について

まちづくり局： 川崎駅周辺地区の取組状況について

建設緑政局： 羽田連絡道路の事業進捗について

港湾局： 最近の川崎港の動向について

臨海部国際戦略本部： 臨海部ビジョンの進捗状況について  
新型コロナウイルス感染症への川崎臨海部企業の対応状況

経済労働局： 川崎市緊急経済対策、第 13 回川崎国際環境技術展

○会員企業からの情報提供

(株)デイ・シイより「川崎工場概要」及び富士電機(株)より「川崎工場紹介」の情報提供をいただいた。

◇第 2 回(3 月 18 日)

○川崎市環境局、まちづくり局、建設緑政局、港湾局、臨海部国際戦略本部、経済労働局から 2021 年度の各局の臨海部施策関連の事業予算並びに各局の臨海部活性化施策について説明を受け意見交換を行った。

○会員企業からの情報提供

JFE エンジニアリング(株)より「JFE エンジニアリング事業企画部紹介」及び昭和電工(株)より「プラスチックケミカルリサイクル事業」について情報提供をいただいた。

## ☆2021 年度

◇第 1 回(11 月 11 日)

○新型コロナウイルス感染防止対策のため、Microsoft Teams を使用したオンライン方式により川崎市各局から及び会員企業から以下の情報提供があり、会員企業と意見交換の機会を設け役員・会員企業と川崎市関係局幹部との情報共有を行った。

環境局： 川崎市地球温暖化推進基本計画の改定の検討状況

まちづくり局： 川崎駅周辺地区におけるまちづくり局の主な取組

建設緑政局： 多摩川スカイブリッジ(羽田連絡道路)について

港湾局： 川崎港のカーボンニュートラルに向けた取組み

臨海部国際戦略本部： 川崎カーボンニュートラルコンビナート構想案の検討経過

経済労働局： 第 14 回川崎国際環境技術展の開催内容

○会員企業からの情報提供

- [株式会社浜銀総合研究所] 「企業・地域の SDGs への取組みに対する支援」
- [ENEOS 株式会社] 「製油所での MCH の脱水素実証」
- [JFE スチール株式会社] 「カーボンニュートラルへ向けた取組み」
- [東亜石油株式会社] 「新社屋への木材活用」、「ガスタービン部品管理プラットフォーム導入」
- [東京ガス株式会社] 「スマートメーターの概要」
- [東京電力パワーグリッド株式会社] 「災害時の電源バックアップ対策等」

◇第 2 回(3 月 29 日)

○新型コロナウイルス感染防止対策のため、Microsoft Teams を使用したオンライン方式により川崎市各局から及び会員企業から以下の情報提供があり、会員企業と意見交換の機会を設け役員・会員企業と川崎市関係局幹部との情報共有を行った。

- 環境局： 2022 年度以降の主な取組みについて
- まちづくり局： 川崎駅周辺地区の取組状況
- 建設緑政局： 多摩川スカイブリッジ(羽田連絡道路)の開通について  
全国都市緑化かわさきフェアの開催に向けて
- 港湾局： 川崎港のカーボンニュートラル化に向けた取組み
- 臨海部国際戦略本部： 2022 年度以降の主な取組みについて
- 経済労働局： かわさき産業振興プラン第 3 期実行プログラム(案)に基づく市内産業の振興

○会員企業からの情報提供

- [JFE プラリソース株式会社] 「容器包装プラスチックのリサイクル」
- [東京ガス株式会社] 「CO<sub>2</sub> ネット・ゼロに向けた東京ガスグループの取組み」

☆2022 年度

◇第 1 回(11 月 10 日)

○川崎市各局及び会員企業から以下の情報提供があり、会員企業と意見交換の機会を設け役員・会員企業と川崎市関係局幹部との活発な意見交換を行った。

- 経済労働局： 第 15 回川崎国際環境技術展の開催等について
- 環境局： 川崎市地球温暖化対策推進に関する条例の改正について
- まちづくり局 川崎駅周辺地区の開発動向について
- 建設緑政局： 全国都市緑化かわさきフェアの開催及び多様な主体との協働・共創の取組み
- 港湾局： 川崎港カーボンニュートラルポート(CNP)形成計画の検討について
- 臨海部国際戦略本部： 臨海部ビジョンに基づくリーディングプロジェクトの取組

○会員企業からの情報提供

- [JFE スチール(株)] カーボンニュートラルビジョン、カーボンニュートラルポートへの取組み
- [東京電力パワーグリッド(株)] 法改正に基づく託送料金の見直し、今冬の需給見直し

◇第 2 回(2 月 8 日)

○川崎市 5 局・1 本部からの情報提供

- 経済労働局： グリーンイノベーションの推進・産業集積の形成について
- 環境局： 新たな計画書・報告書制度の構築に向けた取組  
地域エネルギープラットフォームを担う『地域エネルギー会社』
- まちづくり局： 川崎駅周辺の取組状況、衛星 SAR を活用した取組
- 建設緑政局： 全国都市緑化かわさきフェアの取組状





### 3-2 川崎臨海部道路等に関する企業・行政懇談会（2009年11月に設置）

この懇談会は2009年10月の集中豪雨による臨海部道路を中心とする冠水問題を契機として、2009年11月に設置された。臨海部企業の道路等に関する現場の実態等の状況を行政と共有し、具体的な対策を検討するものであり、当センターの川崎市との重要な連携活動のひとつとして実施してきている。この連携活動と川崎市の効果的かつ迅速な対応支援によって数多くの臨海部の道路状況が改善された。

#### ☆2009年度

道路冠水対策、道路補修、渋滞対策、街路樹、違法投棄などの会員企業が抱える具体的な要望をとりまとめ、臨海部道路関係部局との懇談の場を設けた。

#### ☆2010年度

2年目を迎え交通管理者も参加し3回実施した。冠水問題のほか交通渋滞、交通事故、不法投棄などの諸問題について会員企業のニーズの把握と行政による解決に向けた真摯な取組みにより、当面する課題の早期解決と来年度から主要道路の雨水対策の本格的な取組みが決定するなど大きな前進を見た。

#### ☆2011年度

以下の議題による3回の懇談会が実施された。

「今年度の臨海部付近における道路工事の進捗状況」、「かわさき臨海のもりづくり」、「川崎市における震災対策等」、「台風15号による被害と対策」、「道路冠水対策」

#### ☆2012年度

以下の議題による2回の懇談会が実施された。

「今年度の臨海部付近における道路工事等」、「川崎市における震災対策等」、「バス車内の混雑状況」、「川崎臨海部防災協議会」、「臨海のもりづくり」

#### ☆2013年度

2013年10月16日の台風26号により扇町地区を中心に再び道路冠水による交通機関等への大きな影響が発生したため、改めて抜本的対策について協議、検討を行った。

2回の懇談会が開催され、主な議題は以下のとおりであった。

「臨海部付近における道路工事等の進捗状況と今年度の計画」、「川崎臨海部防災協議会」の進捗状況、「企業からの新たな要望事項への対応」、「塩浜3丁目周辺地区の整備」

#### ☆2014年度～2016年度

各年度2回の懇談会が開催され主な議題は以下のとおりであった。

「臨海部付近における道路工事等の進捗状況と今後の工事予定」、「冠水対策等についての企業からの要望事項」、「企業からの新たな要望事項」、「臨海部における荷待ちトラックの解消」

#### ☆2017年度～2023年度

懇談会が1回開催され主な議題は以下のとおりであった。

臨海部付近における道路工事等の進捗状況と今年度の工事予定、「企業からの新たな要望事項」



2019 年度道路懇談会



2019 年度道路懇談会

### 3-3 循環型地域社会の形成に向けた環境産業との連携に関する連絡会議 (2009 年 6 月に設置)

この連絡会議は、川崎市一般廃棄物処理基本計画の行動計画の改訂に伴う「環境産業との連携」の方針に基づき、川崎市環境局により 2009 年 6 月に設置された。川崎市廃棄物・リサイクル部署とリエゾンセンター会員企業が参画し、川崎市が推進する資源循環施策への協力や臨海部企業の資源循環促進のための課題の検討等を行っている。

#### ☆2009 年度

3 回の会合を実施した。川崎市の廃棄物・リサイクル施策や会員企業のリサイクルの取り組みを紹介するとともに、次年度から市が計画するミックスペーパー分別回収の拡大事業やその他プラスチックの分別収集モデル事業等について意見交換を実施した。

#### ☆2010 年度

2 回の連絡会議を開催し以下の議題等について意見交換を実施した。

「廃棄物処理法の改正に伴う川崎市及び環境産業の対応について」

#### ☆2011 年度

浮島処理センターの視察を実施するとともに以下の議題等について意見交換を実施した。

「廃棄物処理法の改正について」

#### ☆2012 年度

4 月にリニューアルオープンした王禅寺処理センターの新施設見学を兼ねて以下の議題等について意見交換を実施した。

「川崎市一般廃棄物処理基本計画 行動計画の改定について」

(ミックスペーパーとプラスチック製包装容器分別収集の実施と生ごみの収集回数の変更等)

#### ☆2013 年度

大田区城南島の小型家電の回収に伴うリサイクル工場の見学を兼ねて以下の議題等について意見交換を実施した。

「プラスチック製容器包装の分別収集全市拡大と普通ごみ収集の変更について」

#### ☆2014 年度

大田区城南島の食品廃棄物再資源化処理工場の視察を行うとともに、以下の議題等について意見交換を実施した。

「小型家電リサイクルの取組状況」

#### ☆2015 年度

横須賀市の蛍光灯リサイクル等の資源化処理工場の視察を行うとともに、以下の議題等について意見交換を実施した。

「川崎市一般廃棄物処理基本計画（答申）、廃棄物の処理及び清掃に関する法律の一部改正及び水銀による汚染の防止に関する法律及び大気汚染防止法の一部改正 について」

#### ☆2016 年度

王禅寺処理センターの視察を行うとともに、以下の議題等について意見交換を実施した。

「川崎市事業系一般廃棄物処理手数料等の改定について」

#### ☆2017 年度

大田区城南島のリサイクル施設の視察を行うとともに、以下の議題等について意見交換を実施した。

「事前アンケート調査（今後の検討テーマ等）の集計結果について」

#### ☆2019 年度

川崎市浮島処理センターの視察を行うとともに、以下の議題等について意見交換を実施した。

「廃棄物発電を活用したエネルギー循環型ごみ収集施設について」

#### ☆2020 年度

以下の議題等について意見交換を実施した。

「2019 年東日本台風に伴う災害廃棄物への対応について」

#### ☆2021 年度

コロナウイルス感染拡大防止に伴い Web により会議を開催し以下議題について意見交換を実施した。

「川崎市産業廃棄物処理指導計画案並びに川崎市地球温暖化対策推進基本計画の改定案」

#### ☆2022 年度

コアレックス三栄株式会社東京工場（循環型産業構造・ゼロエミッション製紙工場）の視察を行うとともに、以下の議題について意見交換を実施した。

「川崎市の産業廃棄物処理事業における脱炭素化に向けた取組指導計画案」

#### 2023 年度

JFE アーバンリサイクル株式会社の家電リサイクル工場及び J&T 環境株式会社のペットボトルリサイクル工場の視察を行うとともに川崎市のプラスチック資源循環に向けた取組について意見交換を行った。

## 4 情報発信事業

### 4-1 シンポジウム等の開催

#### ☆2009 年度

当NPO法人の創立5周年を記念して「川崎発グリーンニューディールと産業・環境創造リエゾンセンターの役割」と題してシンポジウムを開催した。会場に当NPO法人の活動や会員企業の環境への取り組み等を紹介するパネルを展示し、来場者に情報提供を行った。

#### ■基調講演

「川崎市の地球温暖化防止戦略と臨海部企業への期待－川崎発グリーンニューディールへの挑戦－」  
川崎市市長 阿部孝夫氏

#### ■パネルディスカッション 「臨海部企業の地球環境問題への取組みとNPOの役割」

コーディネーター：足立理事長

パネリスト：

- ◇東燃ゼネラル石油株式会社／東燃化学株式会社代表取締役常務取締役 川崎工場長 武藤潤氏
- ◇JFEエンジニアリング株式会社 取締役専務執行役員 小倉康嗣氏
- ◇信金中央金庫総合研究所所長 平尾光司氏
- ◇財団法人かわさき市民活動センター理事長 小倉敬子氏



#### ☆2010 年度

#### 第1回臨海コンビナート都市連携シンポジウムの開催

テーマ：「地球温暖化防止と産業活性化に向けた工業都市の挑戦」

#### ■基調講演：「地球温暖化と資源枯渇に対応するエココンビナートに向けて」

東京大学大学院工学系研究科教授、当NPO法人理事長 足立芳寛

#### ■パネル討論：「地球温暖化に向けた臨海コンビナートの役割と連携」

コーディネーター：足立芳寛理事長

パネリスト

- ◇北九州市臨海部地区 北九州市環境局環境モデル都市推進室長 小林一彦氏
- ◇四日市コンビナート地区 東ソー(株)四日市事業所 環境保安部環境管理課長 大平章示氏
- ◇京葉コンビナート地区 千葉県商工労働部産業振興課長 土屋直毅氏
- ◇川崎臨海部地区 川崎市環境局地球環境推進室長 福芝康祐氏

## ☆2011 年度

第 2 回臨海コンビナート都市連携シンポジウムの開催

テーマ：「安全・安心なコンビナートを目指して（3.11 東日本大震災を受けて）」

■基調講演：「3・11 を受けて事業継続計画のあり方について」

(株)インターリスク総研主任研究員 篠原雅道氏

■パネル討論：「安全・安心な臨海部コンビナートを目指した企業の取組みと地域連携の重要性」

コーディネーター：足立 芳寛 理事長

パネリスト

◇総務省消防庁消防研究センター 火災災害調査部長 座間信作氏

◇茨城県企画部 事業推進課長 埴秀雄氏

◇千葉県商工労働部 産業振興課長 田中秀明氏

◇東燃ゼネラル石油(株) 代表取締役川崎工場長 武藤潤氏



## ☆2012 年度

第 3 回臨海コンビナート都市連携シンポジウムの開催

テーマ「安全なコンビナート地域を目指して～国の防災基本計画の見直しを受けて～」

■基調講演：「コンビナート港湾における地震・津波対策について」

国土交通省港湾局海岸・防災課 災害対策室長 長太茂樹 氏

■パネル討論：「安全なコンビナート地域を目指して～国の防災基本計画の見直しを受けて～」

コーディネーター：足立芳寛理事長

パネリスト

◇鹿島コンビナート 三菱化学鹿島事業所 戦略企画グループマネージャー 長野克彦氏

◇京葉コンビナート 住友化学(株)千葉工場 環境・安全部兼生産・安全部 部長 村磯肇氏

◇川崎市消防局予防部担当部長（石油コンビナート対策） 滝明氏

◇国土交通省港湾局海岸・防災課 災害対策室長 長太茂樹氏

## ☆2013 年度

第 4 回臨海コンビナート都市連携シンポジウムの開催

テーマ：「21 世紀の“スマートコンビナート”の構築を目指して

～グローバル競争における我が国経済の牽引役としての期待と実践～」

■特別講演：「リチウムイオン電池誕生秘話と今日的課題」

旭化成(株)フェロー 吉野彰氏

■基調講演：「コプロダクションによるコンビナートの省エネルギー化と企業間連携」

(独) 産業技術総合研究所 環境・エネルギー分野 副研究統括 中岩勝氏

■パネル討論：「企業間連携と付加価値の向上等によるコンビナート競争強化を目指して」

コーディネーター：足立芳寛理事長

パネリスト

◇鹿島コンビナート 鹿島石油(株) 鹿島製油所 副所長 六車幸哲氏

◇京葉コンビナート 出光興産(株) 執行役員 千葉工場長 久保田忠義氏

◇京浜コンビナート 東亜石油(株) 取締役 京浜製油所長 淡島敬一氏



吉野彰氏の基調講演



吉野彰氏の基調講演

☆2014 年度

第 5 回臨海コンビナート都市連携シンポジウムの開催

テーマ 「国際競争力の強化に向けたスマートコンビナートへの挑戦」

■基調講演 「コンビナートの国際競争力の強化をめざして」

一橋大学大学院商学研究科教授 橘川武郎氏

■パネルディスカッション 「国際競争力の強化に向けたスマートコンビナートへの挑戦」

コーディネーター 足立芳寛理事長

パネリスト

◇鹿島コンビナート 鹿島石油(株) 鹿島製油所副所長 宮澤章氏

◇京葉コンビナート 千葉県商工労働部産業振興課 副主幹 飯田卓也氏

◇京浜コンビナート 千代田化工建設(株)水素チェーン事業推進ユニットGM 遠藤英樹氏

☆2015 年度

第 6 回臨海コンビナート都市連携シンポジウムの開催

テーマ 「スマートコンビナートへの挑戦～連携と競争力強化」

■基調講演「国際競争力の強化に向けたコンビナート連携」

山口大学大学院技術経営学科教授 稲葉和也氏

■パネルディスカッション 「スマートコンビナートへの挑戦～連携と競争力強化」

コーディネーター 足立芳寛理事長

パネリスト

◇鹿島コンビナート 三菱化学(株)鹿島事業所企画管理部長 原田理氏

◇千葉県 京葉コンビナート 丸善石油化学(株)取締役執行役員千葉工場長 川畑裕氏

◇京浜コンビナート 東燃ゼネラル石油(株)執行役員川崎工場長 藤井文人氏

## ☆2016 年度

第 7 回「臨海コンビナート都市連携シンポジウム 2016」の開催

■基調講演「新しいコンビナート統合のあり方」

東京理科大学大学院イノベーション研究科教授 橋川武郎氏

■パネルディスカッション 「新たなコンビナートを目指して～スマートコンビナートの構築～」

コーディネーター 足立芳寛理事長

パネリスト

◇鹿島コンビナート 茨城県企画部事業推進課長 人見次男氏

◇京葉コンビナート コスモ石油株式会社千葉製油所 生産管理担当副所長 臼井和俊氏

◇京浜コンビナート 川崎市臨海部国際戦略本部臨海部事業推進部長 高橋哲也氏

◇石油コンビナート高度統合運営技術研究組合 技術部長 板垣秀人氏

## ☆2017 年度

第 8 回「臨海コンビナート都市連携シンポジウム 2017」の開催

■基調講演 「企業間連携によるコンビナートの競争力強化へ向けて」

成城大学経済学部准教授 平野創氏

■行政からの情報提供 川崎市「(仮称)臨海部ビジョン」について

川崎市臨海部国際戦略本部担当理事 中村健氏

■パネルディスカッション 「スマートコンビナートを目指して」

コーディネーター 足立芳寛理事長

パネリスト

◇鹿島コンビナート 鹿島石油(株)鹿島製油所副所長 手島政氏

◇京葉コンビナート 三井化学(株)執行役員・市原工場長 近藤伊知郎氏

◇京浜コンビナート 昭和電工(株)執行役員・川崎事業所長 海寶益典氏

◇石油コンビナート高度統合運営技術研究組合 (RING) 技術 1 部 次長 香中源太氏

## ☆2018 年度

第 9 回「臨海コンビナート都市連携シンポジウム 2018」の開催

■基調講演 「コンビナート新時代～IoT、水素、地域間連携」

山口大学大学院技術経営研究科教授 稲葉和也氏

■パネルディスカッション 「スマートコンビナートを目指して」

コーディネーター 足立芳寛理事長

パネリスト

◇鹿島コンビナート 三菱ケミカル株式会社鹿島事業所 企画管理部 企画グループ  
グループマネジャー 中原学氏

◇京葉コンビナート 出光興産株式会社千葉事業所 上席執行役員千葉事業所長 前澤浩士氏

◇京浜コンビナート 川崎市臨海部国際戦略本部担当理事 中村健氏

◇石油コンビナート高度統合運営技術研究組合 技術部長 板垣秀人氏



## ☆2019 年度

第 10 回「臨海コンビナート都市連携シンポジウム 2019」の開催  
(「川崎国際環境技術展」と同時に同会場で開催をした。)

### ■基調講演 「コンビナートの未来と川崎臨海部ビジョン」

東京理科大学大学院経営学研究科教授 橘川武郎 氏

### ■パネルディスカッション 「スマートコンビナートを目指して」

コーディネーター 足立芳寛理事長

パネリスト

◇鹿島コンビナート 鹿島石油株式会社鹿島製油所 技術副所長 吉岡範英氏

◇京葉コンビナート 住友化学株式会社 執行役員 千葉工場長 荻野耕氏

◇京浜コンビナート 東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社 専務執行役員 高柳雅己氏

◇石油コンビナート高度統合運営技術研究組合 技術部長 栗原久光氏



橘川 武郎 氏 基調講演



シンポジウム参加者

## ☆2020 年度

第 11 回コンビナート・シンポジウムの開催 (コロナウイルス感染拡大防止に配慮し Web での聴講を取り入れながら開催)

■基調講演 「コンビナート連携の成果と今後の展望」～地域内連携から地域間連携に向けて～  
成城大学 経済学部経営学科 教授 平野創 氏

■特別講演 (事例発表) テーマ:「スマートコンビナートを目指して 川崎臨海部の取組み」

講演者

◇次世代水素エネルギーチェーン技術研究組合 専務理事 鍛冶尚弘 氏

◇昭和電工(株)川崎事業所 企画統括部兼プラスチックケミカル推進室長 栗山常吉氏

◇川崎市臨海部国際戦略本部 臨海部事業推進部 部長 東 哲也 氏

【各地コンビナートからの事例発表(収録したビデオメッセージの紹介)】

◇「周南コンビナートを核とした地域資源活用の取組について」

◇「大分コンビナートからご挨拶 操業 50 周年を迎えて」

## ☆2021 年度

第 12 回コンビナート・シンポジウムの開催(Web 会議による開催、映像の Web 聴講)

■基調講演 「コンビナートの現状とこれから」～カーボンニュートラル、DX、地方創生～  
山口大学大学院技術経営研究科 稲葉和也教授



■特別講演（事例発表） テーマ ～カーボンニュートラルに向けた地方創生とコンビナート～  
講演者

- ◇ ENEOS 株式会社 水素事業推進部 副部長 前田征児氏
- ◇ 石油コンビナート高度統合運営技術研究組合(RING) 技術部 次長 西塚隆氏
- ◇ 茨城県政策企画部地域振興課 課長 松田慧吾氏
- ◇ 四日市市 商工農水部商工課 課付主幹 水谷成綱氏

☆2022 年度

第 13 回コンビナート都市連携シンポジウムの開催(Web での聴講を取り入れながら開催)

■基調講演 「カーボンニュートラルコンビナート川崎」

国際大学 副学長 大学院国際経営学研究科教授 橘川武郎氏

■特別講演(事例発表)

講演者

- ◇ ENEOS(株) 水素事業推進部主幹 前田征児氏
- ◇ 三菱ケミカル(株) グリーントランスフォーメーション推進本部長 馬渡 謙一郎氏
- ◇ 千葉県 商工労働部産業振興課 産業企画室長 末永道生氏
- ◇ 周南市 産業振興部商工振興課コンビナート脱炭素推進室長 吉村渉氏

☆2023 年度

第 13 回コンビナート・シンポジウムの開催(川崎市産業振興会館会場並びに映像の Web 聴講)

■基調講演 「カーボンニュートラルに向けた各地の取り組み」

成城大学 経済学部経営学科教授 平野創氏

■特別講演(事例発表)

講演者

- ◇ RING(石油コンビナート高度統合運営技術研究組合) 技術部長 原本浩隆氏
- ◇ 東京ガス株式会社  
グリーントランスフォーメーションカンパニー e-methane 推進部 部長 小林裕司氏
- ◇ 愛知県 経済産業局産業科学技術課 担当課長 都筑秀典氏
- ◇ 中部圏水素利用協議会 事務局  
株式会社三井住友銀行 サステナブルソリューション部 二宮雅史氏
- ◇ 出光興産株式会社 CNX 戦略室 水素・アンモニア事業課 課長 片桐絢也氏

## 4-2 共催シンポジウム

【川崎臨海部再生シンポジウム（2005年度から川崎臨海部再生リエゾン推進協議会と共催）】

第4回（2005年3月）「環境と都市の再生を目指す川崎臨海部の挑戦」

第5回（2006年3月）「環境共生型産業のモデル地域へ」

第6回（2007年3月）「エココンビナート形成を目指す川崎臨海部の挑戦」

第7回（2008年3月）「未来を切り開く臨海部～再生への新たな展開」

第8回（2009年3月）「川崎臨海部の挑戦

～新たなエネルギーを軸にした世界経済の再編成～

第9回（2011年3月）「先端医療開発の将来と展望とライフサイエンス分野の世界戦略」

第10回（2011年11月）「川崎臨海部の挑戦：新しい時代の国際競争力

～豊かな加齢を支える新しい産業の創出～

第11回（2012年11月）「川崎臨海部の挑戦：新しい時代の国際競争力

～産業空洞化を克服するアジアダイナミズムへの接合～

## 4-3 展示会等への出展

以下の展示イベントに出展し、市民、企業関係者、行政関係者、学生等に NPO の活動並びに川崎臨海部の現状と将来方向などについて PR を行なった。

☆2006年度 「川崎地球環境フォーラム」(2月24～25日 川崎駅地下街アゼリア)

☆2007年度 「かわさき発ストップ温暖化展」(2月15～16日 川崎駅地下街アゼリア)

☆2008年度 「かわさき発ストップ温暖化展」(3月20日 武蔵溝ノ口駅北口キラリデッキ)

☆2009年度 「川崎国際環境技術展 2010」(2月4～5日 とどろきアリーナ)

☆2010年度 「川崎国際環境技術展 2011」(2月16～17日 とどろきアリーナ)

「企業と市民のマッチングフォーラム」(3月1日 川崎市産業振興会館)

☆2011年度 「川崎国際環境技術展 2012」(2月10～11日 とどろきアリーナ)

「川崎区企業市民交流事業フォーラム」(3月2日 川崎市産業振興会館)

「中原区エコカフェ」(10月16日 とどろきアリーナ)



国際環境技術展 展示小間



オープニングセレモニー

- ☆2012 年度 「川崎国際環境技術展 2013」(2月1～2日 とどろきアリーナ)  
 「川崎市地球温暖化防止活動推進センター6月展」(6月1～29日 高津市民館)  
 「川崎区企業市民交流事業フォーラム」(2月4日 川崎区役所)  
 「幸区子ども環境展」(10月28日 幸スポーツセンター)
- ☆2013 年度 「エコ・クロスマッチング&パネルセッション」(6月19日 高津市民館)  
 「川崎国際環境技術展 2014」 (2月14～15日 とどろきアリーナ)  
 「川崎区企業市民交流事業フォーラム」(2月7日 東海道かわさき宿交流館)  
 「川崎市地球温暖化防止活動推進センター3月展」(3月1～30日 高津市民館)
- ☆2014 年度 「エコ・クロスマッチング&パネルセッション」(6月28日 高津市民館)  
 「川崎国際環境技術展 2015」 (2月 とどろきアリーナ)  
 「川崎区企業市民交流事業フォーラム」(2月 川崎区役所会議室)  
 「川崎市地球温暖化防止活動推進センター3月展示」(3月 高津市民館)
- ☆2015 年度 「川崎国際環境技術展 2016」(2月 とどろきアリーナ)  
 「川崎区企業市民交流事業推進研究会」(2月 東海道かわさき宿交流館)  
 「川崎市地球温暖化防止活動推進センター3月展示」(3月 高津市民館)
- ☆2016 年度 「川崎国際環境技術展 2017」(2月 とどろきアリーナ)  
 「川崎区 知ろう、学ぼう、かわさき環境 Day」(3月 川崎市役所第3庁舎1階ロビー)  
 「川崎市地球温暖化防止活動推進センター3月展示」(3月 高津市民館)
- ☆2017 年度 「川崎国際環境技術展 2018」(2月 とどろきアリーナ)  
 「かわさき企業市民交流 Day」(9月 川崎ルフロン1階イベントスペース)  
 「川崎市地球温暖化防止活動推進センター3月展示」(3月 高津市民館)
- ☆2018 年度 「第11回川崎国際環境技術展」(2月 カルッツかわさき)  
 「かわさき企業市民交流 Day」(8月 川崎ルフロン1階イベントスペース)
- ☆2019 年度 「第12回川崎国際環境技術展」(11月 カルッツかわさき)  
 「かわさき企業市民交流 Day」(8月 川崎ルフロン1階イベントスペース)



国際環境技術展 展示小間



企業市民交流 DAY 展示

- ☆2020 年度 「第 13 回川崎国際環境技術展」(1 月～2 月 オンライン開催)  
「かわさき企業市民交流 Day」(11 月 川崎ルフロン)
- ☆2021 年度 「第 14 回川崎国際環境技術展」(11 月 オンライン開催)  
「かわさき企業市民交流 Day」(11 月 川崎ルフロン)
- ☆2022 年度 「第 15 回川崎国際環境技術展」(11 月 カルッツかわさき)  
「かわさき企業市民交流 Day」(11 月 川崎ルフロン)
- ☆2023 年度 「第 16 回川崎国際環境技術展」(11 月 カルッツかわさき)  
「かわさき企業市民交流 Day」(11 月 川崎ルフロン)

## 5 市民等への臨海部の「見える化」事業

### 5-1 環境・産業交流コーナー（2008年～）

2008年度に、川崎市の委託事業として、臨海部企業の地球温暖化対策技術を中心とする環境への取り組みの広報の場として川崎市産業振興会館12階に交流コーナーを開設した。主に、臨海部の企業の環境関連技術・取り組みや川崎市の臨海部関連情報を常設展示している。



■入り口



■展示・交流コーナー

### 5-2 市民見学会及び夏休み親子見学会

#### ☆2010年度

市民交流企画として、市内環境NPO法人と2回の工場見学・意見交換会を行った。

第1回：2010年7月13日「プラスチックの原料からリサイクルまで」

東亜石油(株)京浜製油所、昭和電工(株)川崎事業所の視察案内 市民24名参加

第2回：2011年3月9日「製鉄から自動車使用まで」

JFEスチール(株)東日本製鉄所(京浜地区)、三菱ふそうトラック・バス(株)川崎工場視察

#### ☆2012年度

第1回：(8月1日) 親子工場見学会 味の素(株)川崎事業所、エコ暮らし未来館、日清製粉(株)鶴見工場  
参加者42名

第2回：(11月19日) 市民見学会 かわさきファズ(株)、マリエン、日本物流センター(株)東京事業所  
参加者32名



親子見学会 味の素



親子見学会 日清製粉

## ☆2013 年度

- 第 1 回 (8 月 7 日) 親子見学会「川崎の海と製鉄所」見学先：川崎港京浜運河、川崎マリエン、  
JFE スチール(株)京浜地区工場 参加 47 名
- 第 2 回(10 月 2 日) 市民見学会「紙とプラのゆくえ」見学先：ペトリファインテクノロジー(株)、  
三栄レギュレーター(株)、 JFE プラリソース(株) 参加 44 名

## ☆2014 年度

- 第 1 回(8 月 5 日) 親子見学会 (見学先) 東京ガス(株)扇島工場 (鶴見区扇島)  
昭和電工(株)植物施設 (川崎区大川町) 参加者 40 名
- 第 2 回(11 月 12 日) 市民見学会 (見学先) 花王(株)川崎工場 (川崎区浮島)  
川崎市上下水道局入江崎水処理センター (川崎区塩浜) 参加者 43 名

## ☆2015 年度

- 第 1 回(8 月 3 日) 親子見学会 (見学先) 東京電力(株)川崎火力発電所 (川崎区千鳥町)  
JFE スチール(株)東日本製鉄所 (京浜地区) (川崎区扇島) 参加者 45 人
- 第 2 回(10 月 7 日) 秋の見学会 (見学先) 三栄レギュレーター(株)東京工場 (川崎区水江町)  
日本貨物鉄道(株)新川崎機関区 (幸区鹿島田) 参加者 26 人

## ☆2016 年度

- 第 1 回(8 月 2 日) 夏休み親子見学会 (見学先) エコ暮らし環境館・資源化処理施設、  
王禅寺処理センター、クノール食品(株)川崎事業所 (高津区下野毛) 参加者 48 人
- 第 2 回(10 月 12 日) 大人の社会科見学会 (見学先) 川崎港 (川崎市巡視船に乗船、川崎港見学)  
川崎バイオマス発電所 (川崎区扇町) 参加者 44 人

## ☆2018 年度

- 第 1 回(8 月 2 日) 夏休み親子見学会 (見学先) 川崎市巡視船「おおぞら」乗船 (川崎港)  
浮島処理センター・資源処理施設 参加者 42 人
- 第 2 回(10 月 4 日) 大人の社会科見学会 (見学先) 味の素(株)川崎工場 (川崎区鈴木町)  
信号機材(株) (中原区市ノ坪) 参加者 35 人

## ☆2019 年度

- 第 1 回(8 月 1 日) 夏休み親子見学会 [見学先] エコ暮らし未来館・浮島処理センター・資源処理施設  
三菱ふそう・トラックバス(株)川崎製作所 親子 15 組が参加
- 第 2 回(10 月 3 日) 大人の社会科見学会 [見学先] 味の素(株)川崎工場、入江崎水処理センター、  
環境総合研究所・東急 REI ホテル 参加者 40 人  
東急 REI ホテルにて昭和電工(株)より水素プロジェクトを紹介した。

## 5-3 環境出前講座

### 2010 年度～2011 年度

対象	事業名称	テーマ
京町小学校 (5 年生) 2010 年 11 月 9 日	環境先進企業見学 環境講座	「川崎臨海部における環境への取組み」
田島小学校 (5 年生) 2011 年 9 月 13 日	環境先進企業見学 環境講座	「川崎臨海部における環境への取組み」
東小田小学校 (5 年生) 2011 年 10 月 27 日	環境先進企業見学 環境講座	「川崎臨海部における環境への取組み」
小田小学校 (5 年生) 2011 年 11 月 15 日	環境先進企業見学 環境講座	「川崎臨海部における環境への取組み」





環境出前講座(川崎市立田島小学校)

## 6 市民、企業、地域間の交流事業

### 6-1 市民・企業との交流活動

#### ☆2008 年度

##### ◇川崎市立小学校社会科研究会川崎臨海部見学会のアレンジ

川崎市小学校社会科教育研究会（49 名）による以下の川崎臨海部のリサイクル施設や会員企業の環境施設の見学会をアレンジし、交流拡大を図った。

- ・三栄レギュレーター（株） 難再生古紙リサイクル施設
- ・昭和電工（株）使用済みプラスチックのアンモニア原料化施設

##### ◇川崎地球温暖化対策推進協議会市民部会との交流

川崎地球温暖化対策推進協議会市民部会のエコツアー研修の一環として、以下の川崎臨海部の工場見学と情報交換をアレンジした。地球温暖化対策推進協議会・市民部会研究会（16 名）が参加し、活発な情報交換を行った。

- ・味の素（株）川崎事業所、J F Eアーバンリサイクル（株）家電リサイクル施設

##### ◇「地球温暖化対策・企業交流会」の開催

基調講演「カーボン・チャレンジ川崎エコ戦略と今後の温暖化防止に向けた期待」

足立芳寛氏（CC川崎エコ会議会長・NPO理事長、東京大学大学院教授）

##### ◇温暖化防止への取組み事例発表（会員企業 5 社、非会員企業 2 社）

- ・味の素(株)： 「味の素グループ環境・温暖化への取組み、川崎事業所を中心に」
- ・日本電気(株)： 「NEC の環境経営と地球温暖化対策」
- ・富士通(株)： 「低炭素社会の実現に向けた IT 企業の役割」
- ・(株)デイ・シイ： 「セメント製造プロセスと高炉セメントの利用による CO2 削減」
- ・J F E スチール(株)： 「J F E スチールにおける地球温暖化防止への取組み」
- ・東京ガス(株)： 「2030 年低炭素社会実現に向けた都市ガスエネルギーの貢献」
- ・東京電力(株)： 「東京電力の地球温暖化に関する取組みについて」  
「川崎市臨海部におけるメガソーラ発電の設置計画について」

#### ☆2011 年度

##### ◇「今夏の大規模停電回避に向けた市民・企業連携事業」

川崎市地球温暖化防止活動推進センターとの共催により、大規模停電回避に向けて市民と企業がそれぞれの役割について意見交換等を行う機会として、市民・企業意見交換会を開催した。当NPO法人からは、会員企業6社（東京電力、東京ガス、J F E スチール、昭和電工、東亜石油、東燃ゼネラル

石油)が、各社の行っている電力供給や節電等の取り組みを紹介した。

意見交換会の最後に、当NPO法人と川崎市地球温暖化防止活動推進センターの連名で「川崎における市民・企業の共同による節電行動の共同アピール」を発表した。

#### ☆2012 年度

##### ◇「環境月間企画 環境の取組展示と市民、事業者意見交換会」

川崎市温暖化防止活動推進センターとの共催で、川崎市民と事業者の環境の取組について意見交換会を開催した。企業からは、当センターの会員企業 3 社 (旭化成ケミカルズ (株)、JFEスチール (株)、昭和電工 (株)) から日常の社員の環境教育の独自の取組について情報提供され、市民と事業者との情報交換の重要性が再認識された。



市民との意見交換会



環境教育の取り組み報告

#### ☆2013 年度

◇川崎市温暖化防止活動推進センター協力事業として「市民と事業者の環境の取組みーエコクロスマッチング」に会員企業の富士電機(株)及び東京電力(株)の 2 社が出席し発表と意見交換を行った。

#### ☆2014 年度

◇川崎市温暖化防止活動推進センター協力事業として、「市民と事業者の環境の取組みーエコクロスマッチング」に会員企業の旭化成ケミカルズが出席し発表と意見交換を行った。

#### ☆2015 年度

◇川崎市温暖化防止活動推進センター協力事業として市民と事業者の環境の取組みーエコクロスマッチング」に会員企業の昭和電工(株)と東京ガスの 2 社が出席し発表と意見交換を行った。

#### ☆2016 年度

◇川崎市温暖化防止活動推進センター協力事業として「市民と事業者の環境の取組みーエコクロスマッチング」に会員企業の JX エネルギー(株)が出席し発表と意見交換を行った。

#### ☆2017 年度～2018 年度

◇川崎市地球温暖化防止活動推進センターとの協力事業として、「市民と事業者の環境の取組ー第 6 回エコ・クロスマッチング」に当 NPO 法人事務局も参加し市民、事業者との意見交換を行った。また、1 か月間のパネル展示に当 NPO 法人及び会員企業の活動状況の紹介パネルを提供した。



## 6-2 他地域との交流活動

### ☆2006 年度

- ・第3回全国エコタウン大会（青森）で活動発表

### ☆2007 年度

- ・北九州市環境局とエコタウンについて情報交換
- ・北九州エココンビナート推進協議会への参画（当 NPO 活動を講演）
- ・第4回全国エコタウン大会（北九州市）で活動発表
- ・（独）科学技術振興機構のワークショップで全国の NPO 代表と交流
- ・堺市建築都市局と臨海部の整備について情報交換

### ☆2008 年度

- ・全国エコタウン行政連絡会への参画（テーマ：エコタウンと地域循環圏の構築）
- ・横浜市共創推進事業本部と企業連携について情報交換

### ☆2009 年度

- ・上海都市産業転換国際フォーラムへの参画  
（主催：上海社会科学院、協力：上海市、専修大学、川崎市）

### ☆2010 年度

- ・第7回国際産業エコロジー学会シンポジウムへの参画  
（主催：産業エコロジー学会、イエール大学、国立環境研究所等、共催：川崎市）
- ・第7回アジア・太平洋エコビジネスフォーラムへの協力と参画  
（主催：川崎市、共催：国立環境研究所、協力：当 NPO 等）

### ☆2011 年度

- ・第8回アジア・太平洋エコビジネスフォーラムへの協力と参画  
（主催：川崎市、共催：国連環境計画国際環境技術センター、協力：当 NPO 等）
- ・千葉県臨海南部工業地帯工場連絡協議会との意見交換
- ・「柏の葉国際キャンパスタウン構想（千葉県柏市）」の視察、研修

### ☆2012 年度

- ・第8回アジア・太平洋エコビジネスフォーラムへの協力と参画  
（主催：川崎市、共催：国連環境計画国際環境技術センター、協力：当 NPO 等）

### ☆2013 年度

- ・水島コンビナート協議会との情報交換会
- ・「鹿島コンビナート復興状況等」の視察研修
- ・「東京湾臨海部広域防災拠点」の視察研修

### 第 19 回リエゾン交流会の様子



### 鹿島コンビナート視察



#### ☆2014 年度

- ・2014 年度コンビナートシンポジウム（主催：中国経済産業局、山口県、周南市）への参画  
パネリストとして、藤井理事（東燃ゼネラル石油(株)）が参画した。
- ・山口県コンビナート企業間連携勉強会（主催：山口県）に八木主任研究員が招へいされ、当 NPO 法人発足から今日までの活動を紹介した。

#### ☆2015 年度

- ・2015 年度コンビナートシンポジウム（主催：九州経済産業局、大分県、大分市、大分コンビナート企業協議会）への参画

パネリストとして、菅原専務理事が招へいされ、「産学公民の連携による臨海部の環境・エネルギー創造と産業活性化を目指して～NPO 法人産業・環境創造リエゾンセンターの活動～」を発表

#### ☆2016 年度

- ・2016 年度コンビナートシンポジウム（主催：中国経済産業局）への参画  
当 NPO 法人事務局も参加し、他コンビナート関係者との交流を図った。

#### ☆2017 年度

- ・2017 年度コンビナートシンポジウム（主催：中国経済産業局 山口県周南市）への参画  
パネリストとして中村健川崎市臨海部国際戦略本部担当理事が「臨海部ビジョン川崎臨海部の目指す将来像」を発表。当 NPO 事務局も参加しコンビナート関係者との交流を図った。

#### ☆2018 年度

2018 年度コンビナートシンポジウム（主催：中国経済産業局 岡山県倉敷市で開催）に参画  
当 NPO 法人事務局も参加し、他コンビナート関係者との交流を図った。

### 6-3 委員会等への参画

☆2008～2023 年度	川崎温暖化対策推進会議（会長：理事長）
☆2008 年度	CO <sub>2</sub> 削減川崎モデル検討委員会（委員長：理事長） 臨港道路東扇島水江町線整備促進協議会（委員：専務理事）
☆2009 年度～2023 年度	川崎国際環境技術展実行委員会（監事：理事長）
☆2009 年度～2018 年度	かわさきコンパクト委員会（委員：専務理事）
☆2009 年度	川崎市環境審議会温暖化対策特別部会（委員：専務理事）
☆2009 年度～2013 年度	低CO <sub>2</sub> 川崎ブランド企画委員会（委員長：理事長）
☆2010 年度	かわさき産業振興プラン改定検討委員会（委員：理事長、専務理事） 川崎臨港道路東扇島水江町線整備促進協議会（委員：専務理事） 臨港道路東扇島水江町線構造検討地域関係者会議（委員：専務理事）
☆2013 年度～2015 年度	川崎市温室効果ガス排出量ライフサイクル評価委員会 （旧低CO <sub>2</sub> 川崎ブランド企画委員会）（委員長：理事長）
☆2014 年度	環境パートナーシップかわさき（委員：顧問）
☆2014 年度～2023 年度	川崎温暖化対策推進会議運営委員会（委員長：専務理事） 川崎市地球温暖化防止活動推進センター運営評議会（委員：専務理事） 川崎臨海部道路等に関する企業・行政懇談会（副座長：専務理事）
☆2015 年度～2023 年度	「川崎区企業市民交流事業推進委員会」（委員：事務局長）
☆2016 年度～2022 年度	「低CO <sub>2</sub> 川崎ブランド等推進協議会」（委員長理事長、委員専務理事） 「低CO <sub>2</sub> 川崎ブランド等推進協議会審査部会」（委員長：理事長）
☆2020 年度～2022 年度	「川崎市環境審議会地球温暖化対策基本計画改定部会」（臨時委員専務理事）
☆2021 年度～2023 年度	「川崎港長期構想検討委員会」（委員：専務理事）
☆2023 年度	「川崎CNブランド等推進協議会」（委員長理事長、委員専務理事） 「川崎CNブランド等推進協議会審査部会」（委員長：理事長）

#### 6-4 受託事業一覧

- ☆2004年度 産業系排熱活用システム検討調査（環境省）川崎臨海部産学公民連携事業（川崎市）
- ☆2005年度 産業系排熱活用システム検討調査（環境省）川崎臨海部産学公民連携事業（川崎市）
- ☆2006年度 産業系排熱活用システムの事業化に係る技術開発（環境省）  
川崎臨海部産学公民連携推進・情報発信事業（川崎市）
- ☆2007年度 川崎臨海部産学公民連携推進・情報発信事業（川崎市）  
臨海部の産業排熱の民生利用モデル化事業（川崎市）
- ☆2008年度 川崎臨海部産学公民連携事業、「環境・産業交流コーナー」管理運営事業（川崎市）  
川崎臨海部の産業排熱の民生利用モデル化事業（川崎市）
- ☆2009年度 川崎臨海部産学公民連携事業、「環境・産業交流コーナー」管理運営事業（川崎市）  
川崎臨海部の産業排熱の民生利用モデル化事業（川崎市）
- ☆2010年度 川崎臨海部産学公民連携事業、「環境・産業交流コーナー」管理運営事業（川崎市）  
川崎臨海部産学公民連携推進・企業間連携によるエココンビナート推進事業
- ☆2011年度 川崎臨海部産学公民連携事業、「環境・産業交流コーナー」管理運営事業（川崎市）  
川崎臨海部産学公民連携・企業間連携によるエココンビナート推進事業（川崎市）  
エネルギー収支解析に向けた基礎調査業務（川崎市）、小学校出前講座（川崎市）
- ☆2012年度 川崎臨海部産学公民連携事業、「環境・産業交流コーナー」管理運営事業（川崎市）  
臨海部産学公民連携推進・企業間連携によるエココンビナート推進事業（川崎市）  
川崎市内の電力供給に関する調査業務、川崎臨海部アメニティ推進事業（川崎市）
- ☆2013年度 川崎臨海部産学公民連携事業、「環境・産業交流コーナー」管理運営事業（川崎市）  
臨海部産学公民連携推進・企業間連携によるエココンビナート推進事業（川崎市）  
川崎市都市環境調査業務、川崎臨海部アメニティ推進事業、  
川崎メカニズム等活性化支援業務（川崎市）
- ☆2014年度 川崎臨海部産学公民連携事業、「環境・産業交流コーナー」管理運営事業（川崎市）  
川崎メカニズム等活性化支援業務（川崎市）
- ☆2015年度～2020年度  
川崎臨海部産学公民連携事業、「環境・産業交流コーナー」管理運営事業（川崎市）
- ☆2021年度～2023年度 「川崎臨海部産学公民連携推進事業」

## 7 法人概要

### 7-1 法人設立経緯

2001年6月、産官学で構成された「川崎臨海部再生リエゾン研究会」が発足し、2年間の研究活動を経て、「川崎臨海部再生プログラム」が取りまとめられた。現在、その実践に向けて「川崎再生リエゾン推進協議会」で具体的連携活動が推進されている。この再生プログラムに携わっていた企業メンバー及び行政関係者等の有志が集まり、「環境と産業の創造」をテーマとするNPO法人を企図した。臨海部が元気になる実践活動をぜひ推進したい、近隣企業や行政とのネットワークをもっと充実させたい、一社ではあきらめていたことも連携することで実現できるのではないかと、連携と実践への期待のもと、有志メンバーが呼応した。コンセプトは「産学公民」の連携であり、行政も参画できるNPO法人を志向した。法人名称は、「産業・環境創造リエゾンセンター」。リエゾン（連携）をキーワードに、先進的環境技術・システム等による新たな産業創造の拠点を目指して命名された。

◎設立等 NPO法人認証：2004年7月30日（神奈川県）

登記：2004年8月2日

### 7-2 定款に定める目的及び事業

#### ◎第3条

この法人は、産業活性化や環境創造に資する産学官民等の連携の実現に向けた調査 研究事業ならびに普及・広報等に関する事業を行い、地域経済の活性化と環境調和 型まちづくりに寄与することを目的とする。

#### ◎第4条

この法人は、前条の目的を達成するため、次に掲げる種類の特定非営利活動を行う。

- (1) 経済活動の活性化を図る活動
- (2) 環境の保全を図る活動
- (3) まちづくりの推進を図る活動
- (4) 科学技術の振興を図る活動

#### ◎第5条

この法人は、第3条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 特定非営利活動に係る事業
  - ① 産業活性化及び環境保全に関わる調査・研究事業
  - ② 産業活性化及び環境保全に関わる普及・広報事業
  - ③ その他この法人の目的を達するために必要な事業

### 7-3 法人会員（2024年3月現在）

旭化成(株)、味の素(株)、ENEOS(株)、(株)クレハ環境、J&T 環境(株)、JFE アーバンリサイクル(株)、JFE エンジニアリング(株)、JFE スチール(株)、JFE プラリソース(株)、総合警備保障(株)、(株)デイ・シイ、東亜建設工業(株)、東亜石油(株)、東京ガス(株)、東京電力エナジーパートナー(株)、東京電力パワーグリッド(株)、(株)浜銀総合研究所、富士電機(株)、(株)レゾナック

#### ※途中入退会のあった会員

JFE ホールディング(株)(2004年9月～2006年3月)

(株)YAKIN 川崎(2004年10月～2009年3月)

(株)東芝(2005年2月～2009年3月)

三愛石油(株)(2006年4月～2009年3月)

日本ゼオン(株)(2008年9月～2012年5月)

日清製粉(株)(2009年2月～2015年4月)

JFE テクノリサーチ(2010年4月～2017年3月)

JFE 鋼板(株)(2016年5月～2021年3月)

日本通運(株)(2016年11月～2021年3月)

## 7-4 歴代役員

※2014年度以降は5月の総会開催時での役員

2004年度					
理事長	久保孝雄				
理事	金澤一輝、瀧田浩、西田裕俊、林光俊、山口学	監事	小澤信幸		
2005年度					
理事長	久保孝雄				
理事	尾崎功、金澤一輝、瀧田浩、西田裕俊、林光俊	監事	小澤信幸		
2006年度					
理事長	久保孝雄				
理事	尾崎功、瀧田浩、西田裕俊、林明夫、林光俊	監事	小澤信幸		
2007年度					
理事長	足立芳寛	専務理事	瀧田浩		
理事	尾崎功、林明夫、蓑手修	監事	小澤信幸		
2008年度					
理事長	足立芳寛	専務理事	瀧田浩		
理事	太田嘉雄、廣瀬直己、福島洋、蓑手修	監事	小澤信幸		
2009年度					
理事長	足立芳寛	専務理事	瀧田浩		
理事	太田嘉雄、小倉康嗣、小林洋武、廣瀬直己、蓑手修、山村康				
監事	小澤信幸				
2010年度					
理事長	足立芳寛	専務理事	瀧田浩		
理事	太田嘉雄、岡田智典、小倉康嗣、小田切司朗、皆川量一、蓑手修、武藤潤、山村康				
監事	小澤信幸				
2011年度					
理事長	足立芳寛	専務理事	瀧田浩		
理事	淡島敬一、太田嘉雄、小倉康嗣、小田切司朗、平川宏、皆川量一、蓑手修、武藤潤				
監事	小澤信幸				
2012年度					
理事長	足立芳寛	専務理事	瀧田浩		
理事	淡島敬一、伊東眞幸、小倉康嗣、小田切司朗、津村昭太郎、濱野浩一、皆川量一、宮田知秀				
監事	小澤信幸				
2013年度					
理事長	足立芳寛	専務理事	瀧田浩		
理事	淡島敬一、伊東眞幸、小倉康嗣、木村俊一、津村昭太郎、中村肇、濱野浩一、藤井文人				
監事	小澤信幸				
2014年度					
理事長	足立芳寛	専務理事	菅原久雄		
理事	淡島敬一、伊東眞幸、小倉康嗣、木村俊一、中村肇、濱野浩一、藤井文人、藤原弘之				
監事	小澤信幸				
2015年度					
理事長	足立芳寛	専務理事	菅原久雄		
理事	淡島敬一、伊東眞幸、小倉康嗣、佐藤育子、古田孝、濱野浩一、藤井文人、藤原弘之				
監事	小澤信幸				
2016年度					
理事長	足立芳寛	専務理事	菅原久雄		
理事	浅見忠世、淡島敬一、伊東眞幸、小倉康嗣、佐藤育子、中村肇、濱野浩一、藤井文人、				
監事	小澤信幸				
2017年度					
理事長	足立芳寛	専務理事	菅原久雄		
理事	阿久津義一、淡島敬一、大久保千行、小倉康嗣、古田隆、濱野浩一、藤井文人、岩山眞士				
監事	小澤信幸				
2018年度					
理事長	足立芳寛	専務理事	菅原久雄		
理事	阿久津義一、淡島敬一、岩山眞士、大久保千行、小倉康嗣、古田隆、濱野浩一、藤井文人				

監事 小澤信幸  
2019年度  
理事長 足立芳寛 専務理事 菅原久雄  
理事 淡島敬一、岩山眞士、大久保千行、小倉康嗣、金沢正明、野村光、藤井文人、  
山下政志  
監事 小澤信幸  
2020年度  
理事長 足立芳寛 専務理事 小泉幸洋  
理事 岩山眞士、小倉康嗣、金沢正明、久保田賢、宍戸康行、下村啓、肥塚俊成、野村光  
監事 小澤信幸  
2021年度  
理事長 足立芳寛 専務理事 小泉幸洋  
理事 浅見健一郎、宇賀神俊介、小倉康嗣、加藤英治、久保田賢、宍戸康行、肥塚俊成、  
柳瀬徹  
監事 小澤信幸  
2022年度  
理事長 足立芳寛 専務理事 小泉幸洋  
理事 浅見健一郎、宇賀神俊介、小倉康嗣、加藤英治、久保田賢、宍戸康行、鈴木圭一、  
柳瀬徹  
監事 小澤信幸  
2023年度  
理事長 足立芳寛 専務理事 中村健  
理事 浅見健一郎、江口裕、小倉康嗣、加藤英治、河原章夫、久保田賢、中嶋豊、鈴木圭一  
監事 小澤信幸



## 7-5 歴代幹事

※2014年度以降は5月の総会開催時での幹事

2007年度

幹事長 J F E スチール(株) 大垣陽二  
幹事 味の素(株) 高橋英二、(株)デイ・シイ 鯉淵清、東京電力(株) 須田総一郎、  
東京ガス(株) 小林洋武、(株)浜銀総合研究所 添野好一、(株)Y A K I N川崎 横田泰則

2008年度

幹事長 (株)デイ・シイ 鯉淵清  
幹事 味の素(株) 高橋英二、J F E スチール(株) 大垣陽二、東京電力(株) 須田総一郎、  
(株)浜銀総合研究所 添野好一、(株)Y A K I N川崎 横田泰則

2009年度

幹事長 東京ガス(株) 山部典昭  
副幹事長 (株)浜銀総合研究所 添野好一  
幹事 味の素(株) 鈴木哲、J F E スチール(株) 柳川真人、(株)デイ・シイ 鯉淵清  
東亜石油(株) 山崎恒、東京電力(株) 須田総一郎 増田宏(期中交代)  
(株)浜銀総合研究所 添野好一

2010年度

幹事長 (株)浜銀総合研究所 添野好一  
副幹事長 東京電力(株) 増田宏  
幹事 味の素(株) 鈴木哲、J F E スチール(株) 秋本恒志、(株)デイ・シイ 鯉淵清  
東亜石油(株) 佐藤隆信、東京ガス(株) 山部典昭、東燃ゼネラル石油(株) 森下眞

2011年度

幹事長 東京電力(株) 齊藤進  
副幹事長 東亜石油(株) 佐藤隆信  
幹事 J F E スチール(株) 秋本恒志、阿久根晋(期中交代)、(株)デイ・シイ 鯉淵清  
東京ガス(株) 山部典昭、東燃ゼネラル石油(株) 森下眞、  
(株)浜銀総合研究所 添野好一

2012年度

幹事長 東亜石油(株) 佐藤隆信  
副幹事長 J F E スチール(株) 阿久根晋  
幹事 (株)デイ・シイ 高岡朗、東京電力(株) 坪田邦夫、齊藤進、東京ガス(株) 山部典昭  
東燃ゼネラル石油(株) 細川猛、(株)浜銀総合研究所 添野好一

2013年度

幹事長 J F E スチール(株) 阿久根晋、阪本岳郎(期中交代)  
副幹事長 (株)デイ・シイ 高岡朗  
幹事 東亜石油(株) 佐藤隆信、東京電力(株) 坪田邦夫、奥野隆男(期中交代)  
東京ガス(株) 山部典昭、東燃ゼネラル石油(株) 細川猛、神前真紀男(期中交代)  
(株)浜銀総合研究所 添野好一

2014年度

幹事長 (株)デイ・シイ 高岡朗  
副幹事長 東燃ゼネラル石油(株) 神前真紀男  
幹事 J F E スチール(株) 阪本岳郎、東亜石油(株) 佐藤隆信、東京電力(株) 奥野隆男  
東京ガス(株) 山部典昭、(株)浜銀総合研究所 添野好一

2015年度

幹事長 東燃ゼネラル石油(株) 金崎明夫  
副幹事長 東京ガス(株) 山部典昭  
幹事 J F E スチール(株) 阪本岳郎、東亜石油(株) 佐藤隆信、東京電力(株) 中嶋岩男  
(株)浜銀総合研究所 添野好一、(株)デイ・シイ 高岡朗

2016年度

幹事長 東京ガス(株) 山部典昭  
副幹事長 (株)浜銀総合研究所 添野好一  
幹事 J F E スチール(株) 阪本岳郎、東亜石油(株) 佐藤隆信、東京電力(株) 中嶋岩男  
(株)浜銀総合研究所 添野好一、(株)デイ・シイ 池田和夫  
東燃ゼネラル石油(株) 金崎明夫

2017年度

幹事長 (株)浜銀総合研究所 添野好一  
副幹事長 東京電力パワーグリッド(株) 中嶋岩男  
幹事 東京ガス(株) 山部典昭、J F E スチール(株) 阪本岳郎、東亜石油(株) 佐藤秀雄、  
(株)デイ・シイ 池田和夫、JXTG エネルギー(株) 金崎明夫

2018 年度

幹事長 東京電力パワーグリッド(株) 鶴田文彦  
副幹事長 東亜石油(株) 佐藤秀雄  
幹事 東京ガス(株) 塩野正明、J F E スチール(株) 阪本岳郎、(株)デイ・シイ 池田和夫  
JXTG エネルギー(株) 麦倉均、(株)浜銀総合研究所 添野好一

2019 年度

幹事長 東亜石油(株) 佐藤秀雄  
副幹事長 J F E スチール(株) 阪本岳郎  
幹事 東京ガス(株) 塩野正明、(株)デイ・シイ 池田和夫、  
東京電力パワーグリッド(株) 鶴田文彦、JXTG エネルギー(株) 麦倉均、  
(株)浜銀総合研究所 添野好一

2020 年度

幹事長 J F E スチール(株) 岩本亨  
副幹事長 (株)デイ・シイ 田草川哲  
幹事 ENEOS(株) 田村厚子、東京ガス(株) 塩野正明、東京電力パワーグリッド(株) 大谷治朗  
(株)浜銀総合研究所 添野好一、東亜石油(株) 佐藤秀雄

2021 年度

幹事長 (株)デイ・シイ 田草川哲  
副幹事長 ENEOS(株) 田村厚子  
幹事 東京ガス(株) 平瀬裕介、東京電力パワーグリッド(株) 大谷治朗  
(株)浜銀総合研究所 添野好一、東亜石油(株) 佐藤秀雄、J F E スチール(株) 岩本亨

2022 年度

幹事長 ENEOS(株) 田村厚子  
副幹事長 東京ガスネットワーク(株) 平瀬裕介  
幹事 東京電力パワーグリッド(株) 大谷治朗、(株)浜銀総合研究所 添野好一、  
東亜石油(株) 佐藤秀雄、J F E スチール(株) 下山文雄、(株)デイ・シイ 田草川哲

2023 年度

幹事長 東京ガス(株) 平瀬裕介  
副幹事長 (株)浜銀総合研究所 添野好一  
幹事 東亜石油(株) 山中敏之、J F E スチール(株) 下山文雄、(株)デイ・シイ 田草川哲、  
ENEOS(株) 木村理、東京電力パワーグリッド(株) 古谷智

## 8 活動年表

2004年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3月 設立総会 開催</li> <li>・7月30日 NPO 法人認証</li> <li>・8月2日 登記、設立</li> <li>・8月 ワーキンググループの発足               <ul style="list-style-type: none"> <li>①エネルギーWG(2004～2006年度) 早稲田大学理工学総合研究センターと共同研究(WGリーダー:東芝)</li> <li>②資源循環(2004年度～2006年度) 東洋大学、国立環境研究所、川崎市と共同研究(WGリーダー:デイ・シイ)</li> <li>③国際環境特区(2004年度～2005年度) 川崎市と共同研究(WGリーダー:浜銀総合研究所)</li> </ul> </li> <li>・3月 「臨海部再生シンポジウム 2005」の開催 (川崎臨海部再生リエゾン推進協議会との共催 川崎市産業振興会館)</li> </ul> <p><b>【企業会員 13 社】</b></p>
2005年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6月 第1回通常総会</li> <li>・9月 日中韓環境大臣会合経済シンポジウム(北京) 資源循環社会構築に向けたNPO 法人の活動紹介:JFEホールディングス 露口 哲男 氏</li> <li>・1月 「第4回尼崎 21世紀の森づくりフォーラム」(尼崎市) NPO による産業再生に向けた活動紹介:JFEホールディングス 老川 恒夫 氏</li> <li>・2月 「産業活性化と緑の拡大に向けた制度のあり方」について 川崎臨海部リエゾン推進協議会から川崎市長あて提案書を提出</li> <li>・2月 「日中韓 3R/循環経済セミナー環境大臣会合経済シンポジウム」(東京) 資源循環社会構築に向けたNPO の活動紹介:東洋大学教授 藤田 壮 氏</li> <li>・3月 「臨海部再生シンポジウム 2006」の開催(川崎臨海部再生リエゾン推進協議会との共催川崎市産業振興会館)</li> </ul> <p><b>【企業会員 14 社、個人会員 2 名】</b></p>
2006年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6月 第2回通常総会 開催</li> <li>・8月 専修大学社会科学研究所夏季合宿研究系にてリエゾンセンターの活動状況を講演</li> <li>・11月 第3回全国エコタウン大会inあおもり(分科会 1)にてリエゾンセンターの活動を発表</li> <li>・3月 「臨海部再生シンポジウム 2007」の開催(川崎臨海部再生リエゾン推進協議会と共催 川崎市産業振興会館)</li> <li>・3月 ホームページの開設</li> </ul> <p><b>【企業会員 17 社、個人会員 2 名】</b></p>
2007年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6月 第3回通常総会</li> <li>・7月 第1回リエゾン交流会</li> <li>・8月 北九州市環境局環境経済課(エコタウン担当)来所</li> <li>・9月 第2回リエゾン交流会</li> <li>・10月 第1回川崎市と理事・会員企業との意見交換会</li> <li>・10月 エココンビナート推進協議会で講演(北九州市)</li> <li>・10月 第1回「川崎臨海部再生リエゾン推進協議会」</li> <li>・10月 第1回「京浜臨海部コンビナート高度化等検討会議」(第2回:1月、第3回:3月)</li> <li>・11月 「会報第1号」の発刊(第2号:3月)</li> <li>・11月 第3回リエゾン交流会</li> <li>・11月 「ヒートアイランド対策研究会」発足(第2回:1月)</li> <li>・12月 専修大学オープンリサーチ「京浜臨海部の再生フォーラム」(於 神田校舎)にパネリストとして参加</li> <li>・12月 (独法)科学技術振興機構(JST)で活動報告(千代田区大手町)</li> <li>・12月 「資源循環システム研究会」発足(第2回:2月、第3回:3月)</li> <li>・12月 第4回リエゾン交流会</li> <li>・2月 「かわさき発ストップ温暖化展」出展(川崎駅地下街アゼリア)</li> <li>・2月 第2回川崎市と理事・会員企業との意見交換会</li> <li>・2月 川崎区企業市民交流フォーラムに初参加</li> <li>・3月 第2回「川崎臨海部再生リエゾン推進協議会」</li> <li>・3月 「臨海部再生シンポジウム 2008」(川崎臨海部再生リエゾン推進協議会との共催 川崎市砂子会館)</li> <li>・3月 堺市建築都市局・北エリア開発整備協議会 来所</li> </ul> <p><b>【企業会員 19 社、個人会員 6 名、賛助会員 1 社】</b></p>
2008年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月 第1回リエゾン交流会</li> <li>・5月 第4回通常総会</li> <li>・5月 「かわさきコンパクト委員会」発足 委員に専務理事就任</li> <li>・5月 事務所を川崎市産業振興会館 12階に移転</li> <li>・7月 理事長「川崎温暖化対策推進会議(カーボンチャレンジ川崎エコ会議)」会長に就任(※)</li> <li>・7月 全国エコタウン行政連絡会議で講演(東京三田共用会議室)</li> <li>・7月 第2回リエゾン交流会</li> <li>・8月 専務理事「川崎温暖化対策推進会議運営委員会」委員長に就任(※)</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8月 「低CO2川崎ブランド選定委員会」発足、座長に専務理事就任(※)</li> <li>・9月 第3回リエゾン交流会</li> <li>・10月 専務理事「川崎市環境審議会(温暖化対策特別部会)」臨時委員に就任(※)</li> <li>・10月 第1回川崎市との政策懇談会</li> <li>・11月 「地球温暖化対策シンポジウム」(川崎市との共催 川崎商工会議所)(※)</li> <li>・11月 第1回「川崎臨海部再生リエゾン推進協議会」</li> <li>・12月 第3回リエゾン交流会</li> <li>・1月 理事長「CC川崎エコ会議シンポジウム」(川崎市産業振興会館ホール)で講演(※)</li> <li>・2月 第2回「川崎臨海部再生リエゾン推進協議会」</li> <li>・2月 第5回アジア・太平洋エコビジネスフォーラム</li> <li>・2月 「第1回川崎市国際環境技術展」出展(とどろきアリーナ)</li> <li>・2月 第2回川崎市との政策懇談会</li> <li>・3月 理事長、川崎市長との「CC川崎による地球温暖化対策の推進」新聞紙上対談(神奈川新聞)</li> <li>・3月 「川崎発ストップ温暖化展」出展(溝口駅北口キラリデッキ)</li> <li>・3月 「臨海部活性化シンポジウム2009」(川崎臨海部再生リエゾン推進協議会との共催 羽田ギャラクシーホール) (会報の発行) 第3号(6月)、第4号(12月)</li> </ul> <p><b>【企業会員20社、個人会員7名、賛助会員2社】</b></p>
2009年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月 「川崎市・NPOによる定例情報交換会」の開始(月1回)</li> <li>・4月 第1回リエゾン交流会</li> <li>・5月 FMかわさき第7回「エコでハピネス」でNPO事業活動紹介</li> <li>・5月 第5回通常総会</li> <li>・7月 第2回リエゾン交流会</li> <li>・9月 第3回リエゾン交流会</li> <li>・9月 第1回川崎市地球温暖化防止条例(計画編)市民・事業者意見交換会 (川崎市・LCIE共催 第2回:10月)</li> <li>・9月 川崎市地球温暖化防止条例・同計画説明会の開催(川崎市主催)</li> <li>・10月 5周年記念誌「LCIEの5年の歩み」の発刊</li> <li>・10月 「経営者環境力大賞川崎シンポジウム」で会員企業のCSR活動を紹介</li> <li>・10月 東北経済産業局とNPO活動に係る意見交換</li> <li>・10月 第1回川崎市との政策懇談会</li> <li>・10月 「川崎市循環型地域社会の形成に向けた環境産業との連携に関する連絡会議」の設置・ 第1回開催(第2回:2月)</li> <li>・10月 「上海都市産業転換国際フォーラム」で講演</li> <li>・11月 地球温暖化防止条例 事業者説明会の開催(川崎市主催)(以後3月までのべ5回開催)</li> <li>・11月 「LCIE創立5周年記念シンポジウム」の開催(THINK京浜ビル)</li> <li>・11月 「JAICA川崎市受け入れ研修生説明会」で講演</li> <li>・11月 「川崎臨海部道路問題等に関する企業・行政懇談会」の設置・第1回開催(第2回:1月)</li> <li>・1月 第1回「川崎臨海部再生リエゾン推進協議会」</li> <li>・1月 第4回リエゾン交流会(視察・見学)</li> <li>・2月 「全国エコタウン大会」で発表(川崎市日航ホテル)</li> <li>・2月 「川崎国際環境技術展2010」出展(とどろきアリーナ)</li> <li>・2月 第2回川崎市との政策懇談会</li> <li>・3月 「臨海部活性化シンポジウム2010」(川崎臨海部再生リエゾン推進協議会との共催 川崎日航ホテル)</li> <li>・3月 第2回「川崎臨海部再生リエゾン推進協議会」 (会報の発行) 第5号(4月)、第6号(7月)、第7号(12月)</li> </ul> <p><b>【団体会員19社、個人会員8名、賛助会員3社】</b></p>
2010年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月 浮島メガソーラー起工式・直会</li> <li>・4月 川崎市・NPOによる定例情報交換会の実施(月1回)</li> <li>・4月 第1回リエゾン交流会</li> <li>・5月 第1回「川崎臨海部道路問題等に関する企業・行政懇談会」(第2回:8月、第3回:11月)</li> <li>・5月 第6回通常総会</li> <li>・6月 第1回「循環型地域社会の形成に向けた環境産業との連携に関する連絡会議」(第2回:3月)</li> <li>・6月 「川崎市環境功労者表彰」の受賞</li> <li>・7月 第2回リエゾン交流会</li> <li>・8月 宿泊研修会(柏崎原子力発電所ほか)</li> <li>・8月 第1回「川崎臨海部再生リエゾン推進協議会」</li> <li>・9月 第3回リエゾン交流会</li> <li>・9月 イギリス都市計画関係者 来室(エコタウン関連)</li> <li>・10月 第1回 川崎市との政策懇談会</li> <li>・10月 「臨海コンビナート都市連携シンポジウム」(川崎市産業振興会館)(※)</li> <li>・11月 第7回「国際産業エコロジー学会シンポジウム」出席()</li> <li>・11月 「出前講座」(京町小学校)</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・11月 「平成 22 年度臨海部活性化シンポジウム」 (川崎臨海部再生リエゾン推進協議会との共催 羽田ギャラクシーホール)</li> <li>・12月 「かわさきコンパクト・市民コンパクト」への参加登録</li> <li>・12月 第 4 回リエゾン交流会</li> <li>・1月 ホームページの全面リニューアル</li> <li>・2月 第 2 回川崎市との政策懇談会</li> <li>・2月 第 7 回「アジア・太平洋エコビジネスフォーラム」参加</li> <li>・2月 「川崎市国際環境技術展 2011」出展(とどろきアリーナ)</li> <li>・3月 第 2 回「川崎臨海部再生リエゾン推進協議会」(東日本大震災により中止) (会報の発行) 第 8 号(4月)、第 9 号(7月)、第 10 号(12月) ・(会員企業ヒアリングの実施 10月～12月)「リエゾンセンターの今後の方向性と具体的取組みについて」</li> </ul> <p><b>【団体会員 20 社、個人会員 9 名、賛助会員 2 社】</b></p>
2011 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月 川崎市・NPO による定例情報交換会の実施(月 1 回)</li> <li>・5月 第 7 回通常総会</li> <li>・6月 第 1 回「川崎臨海部道路問題等に関する企業・行政懇談会」(6月、11月、3月 のべ 3 回開催)</li> <li>・6月 「大規模停電の回避に向けた臨海部企業の取組み」(高津市民館 CC 交流コーナー 6月一か月間)</li> <li>・6月 シンポジウムの開催 テーマ:「市民・企業の協働による節電への取組み」(於 高津市民館) 「川崎における市民・企業の協働による節電行動共同アピール」を採択</li> <li>・6月 FM かわさき第 113 回「エコでハピネス」で 3・11 後の会員企業の取組み等を紹介</li> <li>・6月 新聞報道「脱原発モデルを歩くーエコ発電都市川崎「地産地消」を先取り」(東京新聞)で紹介</li> <li>・7月 第 1 回リエゾン交流会</li> <li>・7月 第 1 回「川崎臨海部再生リエゾン推進協議会」</li> <li>・7月 「循環型地域社会の形成に向けた環境産業との連携に関する連絡会議」</li> <li>・9月 「出前講座」(田島小学校)</li> <li>・9月 第 2 回リエゾン交流会</li> <li>・10月 第 1 回 政策懇談会</li> <li>・10月 「中原区エコカフェ」出展(等々力市民ミュージアム中庭)</li> <li>・10月 「出前講座」(東小田小学校)</li> <li>・10月 「臨海コンビナート都市連携シンポジウム」(川崎市産業振興会館)(※)</li> <li>・11月 「平成 23 年度臨海部活性化シンポジウム」 (川崎臨海部再生リエゾン推進協議会との共催 羽田ギャラクシーホール)</li> <li>・11月 「出前講座」(小田小学校)</li> <li>・1月 足立理事長「市政だより 1 月 1 日号ー新春に語る 2012ー」で川崎市長ほかと対談</li> <li>・1月 第 3 回リエゾン交流会</li> <li>・2月 「事業者の CSR/SR 展」出展(高津市民館 1 か月間)</li> <li>・2月 第 8 回「アジア・太平洋エコビジネスフォーラム」参加</li> <li>・2月 「川崎市国際環境技術展 2012」出展(等々力アリーナ)(※)</li> <li>・2月 第 2 回政策懇談会</li> <li>・3月 「第 15 回川崎区企業市民交流事業フォーラム」(川崎市産業振興会館)</li> <li>・3月 第 2 回「川崎臨海部再生リエゾン推進協議会」 (会報の発行) 第 11 号(4月)、第 12 号(9月)、第 13 号(12月) (会員アンケート調査の実施) ・会員企業対象「災害時の事業継続(BCP)に関する課題・要望」について(7月) ・個人会員対象「NPO 法人の活動評価と今後の期待」について(11月)</li> </ul> <p><b>【企業会員 20 社、個人会員 11 名、賛助会 1 社】</b></p>
2012 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月 川崎市・NPO による定例情報交換会(月 1 回)</li> <li>・4月 第 1 回リエゾン交流会</li> <li>・5月 第 8 回通常総会</li> <li>・5月 「川崎臨海部道路等に関する企業・行政懇談会」(5月、12月の 2 回開催)</li> <li>・5月 「川崎市地球温暖化防止活動推進センター月例展示:自然エネルギー」出展(高津市民館 1 か月間)</li> <li>・6月 かわさき市民アカデミー「身近な環境とみどり」出前講座</li> <li>・6月 環境月間:市民・事業者の意見交換会(高津市民館) テーマ:「市民と事業者の環境の取組み」</li> <li>・7月 第 2 回リエゾン交流会</li> <li>・8月 第 1 回「川崎臨海部再生リエゾン推進協議会」</li> <li>・8月 第 3 回リエゾン交流会</li> <li>・10月 第 1 回政策懇談会</li> <li>・10月 「幸区子ども環境展」出展(幸スポーツセンター)</li> <li>・10月 「臨海コンビナート都市連携シンポジウム」(川崎市産業振興会館)</li> <li>・11月 「平成 24 年度臨海部活性化シンポジウム」 (川崎臨海部再生リエゾン推進協議会との共催 羽田ギャラクシーホール)</li> <li>・11月 循環型地域社会の形成に向けた環境産業との連携に関する連絡会議</li> <li>・1月 第 9 回「アジア・太平洋エコビジネスフォーラム」参加</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1月 NPO 紹介リーフレットの更新</li> <li>・2月「川崎市国際環境技術展 2013」出展(等々力アリーナ)</li> <li>・2月 第16回「川崎区企業市民交流事業フォーラム」参加(川崎区役所)</li> <li>・2月 第2回政策懇談会</li> <li>・2月 第2回「川崎臨海部再生リエゾン推進協議会」 (会報の発行) 第14号(4月)、第15号(8月)、第16号(12月) (会員企業アンケート調査の実施)(1月) テーマ:「平成24年度事業計画」について(4月) テーマ:「エネルギー新産業創造」に向けた取組みについて</li> </ul> <p><b>【団体会員 19 社、個人会員 10 名、賛助会員 2 社】</b></p>
2013 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月 川崎市・リエゾンセンター定例情報交換会(月1回)</li> <li>・4月 第1回リエゾン交流会</li> <li>・5月 第9回通常総会</li> <li>・6月 川崎臨海部道路等に関する企業・行政懇談会(6月、1月)</li> <li>・6月 「市民と事業者の環境の取組みーエコクロスマッチング」 (高津市民館)(川崎市地球温暖化防止活動センター協力事業)</li> <li>・7月 第1回「川崎臨海部再生リエゾン推進協議会」</li> <li>・8月 新聞報道「臨海部発エネルギー革新ー最先端の現場からー」(6回シリーズで特集:神奈川新聞)</li> <li>・8月 第2回リエゾン交流会</li> <li>・9月 「エコタウン地域研修ワークショップー川崎市セッション」で講演</li> <li>・10月 「第4回臨海コンビナート都市連携シンポジウム」の開催(川崎市産業振興会館)</li> <li>・11月 第1回政策懇談会</li> <li>・11月 循環型地域社会の形成に向けた環境産業との連携に関する連絡会議</li> <li>・12月 第3回リエゾン交流会</li> <li>・12月 新聞報道「変わる京浜ー100年その先へー」(6回シリーズで特集:朝日新聞)</li> <li>・2月 「第17回川崎区企業市民交流事業フォーラム」出展(東海道かわさき宿交流館)</li> <li>・2月 「川崎市国際環境技術展 2014」出展(等々力アリーナ)</li> <li>・2月 第2回「川崎臨海部再生リエゾン推進協議会」</li> <li>・2月 第2回政策懇談会</li> <li>・3月 第1回「川崎臨海部広域防災訓練」(情報受伝達訓練等)に参加</li> <li>・3月 川崎市地球温暖化防止活動推進センター月例展示「CSR/SR」出展(高津市民館)</li> <li>・3月 テレビ朝日報道ステーションで活動紹介 ・(会報の発行) 第17号(5月)、第18号(11月)、第19号(3月)</li> </ul> <p><b>【団体会員 19 社、個人会員 9 名、賛助会員 2 社】</b></p>
2014 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月 川崎市・NPO による定例情報交換会の実施(月1回)</li> <li>・4月 第1回リエゾン交流会</li> <li>・4月 NPO 法人「九転十起交流会」来室</li> <li>・5月 第10回通常総会</li> <li>・6月 「川崎市環境リーダー育成講座」でNPOの紹介(高津市民館)</li> <li>・6月 「第2回エコクロスマッチング」(高津市民館)(川崎市地球温暖化防止活動センターと共催)</li> <li>・6月 川崎市地球温暖化防止活動センター月例展示(1カ月間)</li> <li>・6月 環境月間「市民・事業者の環境への取組み」パネル展示</li> <li>・7月 川崎市制政90周年記念式典にて「奨励賞」を受賞</li> <li>・7月 第1回川崎臨海部道路等に関する企業・行政懇談会</li> <li>・8月 第1回「川崎臨海部再生リエゾン推進協議会」 川崎市から10年間の取組に対する「感謝状」を授与される</li> <li>・8月 第2回リエゾン研究会</li> <li>・10月 「第4回臨海コンビナート都市連携シンポジウム」の開催(川崎市産業振興会館)</li> <li>・10月 10周年記念誌発行(シンポジウム会場にて配布)</li> <li>・11月 第1回川崎臨海部道路等に関する企業・行政懇談会</li> <li>・2月 循環型地域社会の形成に向けた環境産業との連携に関する連絡会議</li> <li>・3月 第2回「川崎臨海部再生リエゾン推進協議会」</li> <li>・3月 第2回政策懇談会</li> </ul> <p><b>【団体会員 19 社、個人会員 12 名、賛助会員 2 社】</b></p>
2015 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月 川崎市・NPO による定例情報交換会の実施(月1回)</li> <li>・4月 臨海部活性化研究会(年間で11回開催)</li> <li>・4月 第1回リエゾン交流会</li> <li>・5月 第11回通常総会 会報発行</li> <li>・6月 第1回川崎臨海部道路等に関する企業・行政懇談会</li> <li>・6月 川崎港緑化基本計画策定懇談会</li> <li>・6月 市民交流事業 第3回エコ・クロスマッチング</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7月 第1回川崎臨海部再生リエゾン推進協議会</li> <li>・8月 市民交流事業夏休み親子見学会（東電川崎火力発電所・JFE スチール東日本製鉄所京浜地区）</li> <li>・8月 第2回リエゾン交流会 富山県氷見市「NPO 九転十起交流会」視察、交流</li> <li>・10月 臨海コンビナート都市連携シンポジウム 2015（第6回）</li> <li>・10月 会報発行</li> <li>・11月 第2回川崎臨海部道路等に関する企業・行政懇談会</li> <li>・11月 第1回循環型地域社会の形成に向けた環境産業との連携に関する連絡会議</li> <li>・12月 会報発行</li> <li>・2月 川崎国際環境技術展 2016</li> <li>・2月 第3回リエゾン交流会</li> <li>・2月 第19回川崎区企業市民交流事業</li> <li>・3月 第2回川崎臨海部再生リエゾン推進協議会</li> <li>・3月 政策懇談会</li> <li>・3月 会報発行</li> </ul> <p><b>【団体会員 18社、個人会員 12名、賛助会員 3社】</b></p>
2016年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月 川崎市・NPOによる定例情報交換会の実施(月1回)</li> <li>・4月 第1回リエゾン交流会（東燃ゼネラル石油(株)川崎工場・クレハ環境(株)ウェステックかながわ)</li> <li>・4月 臨海部活性化研究会(ほぼ毎月 11回開催 ※臨海部ビジョン研究会としても開催)</li> <li>・5月 第12回通常総会</li> <li>・6月 市民交流事業業 第4回エコ・クロスマッチング</li> <li>・6月 第1回川崎臨海部道路等に関する企業・行政懇談会</li> <li>・7月 会報発行(第25号)</li> <li>・7月 第1回川崎臨海部再生リエゾン推進協議会</li> <li>・8月 市民交流事業 夏休み親子見学会（エコ暮らし未来館、クノール食品(株)川崎事業所他）</li> <li>・8月 第2回リエゾン交流会（岩谷産業(株)イワタニ水素ステーション芝公園）</li> <li>・10月 市民交流事業 市民見学会（川崎港・川崎バイオマス発電所）</li> <li>・10月 臨海コンビナート都市連携シンポジウム 2016（第7回）</li> <li>・11月 政策懇談会</li> <li>・11月 第2回川崎臨海部道路等に関する企業・行政懇談会</li> <li>・11月 循環型地域社会の形成に向けた環境産業との連携に関する連絡会議</li> <li>・12月 会報発行</li> <li>・2月 川崎国際環境技術展 2017</li> <li>・2月 川崎区企業市民交流事業</li> <li>・2月 第3回リエゾン交流会（通算第33回）</li> <li>・3月 川崎市地球温暖化防止活動推進センター3月企画展示</li> <li>・3月 第2回川崎臨海部再生リエゾン推進協議会</li> <li>・3月 政策懇談会</li> <li>・3月 会報発行</li> </ul> <p><b>【団体会員 21社、個人会員 12名、賛助会員 2社】</b></p>
2017年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月 川崎市・NPOによる定例情報交換会の実施(月1回)</li> <li>・4月 第1回リエゾン交流会（通算第34回）((株)クレハ環境本社・福島県いわき市)</li> <li>・5月 臨海部活性化（臨海部ビジョン）研究会(年間8回開催)</li> <li>・5月 第13回通常総会</li> <li>・6月 市民交流事業業 第4回エコ・クロスマッチング</li> <li>・7月 第1回川崎臨海部再生リエゾン推進協議会</li> <li>・8月 市民交流事業 夏休み親子見学会（三栄レギュレーター(株)、かわさきエコ暮らし未来館他）</li> <li>・8月 第2回リエゾン交流会（日本航空羽田貨物基地）</li> <li>・8月 第1回川崎臨海部道路等に関する企業・行政懇談会</li> <li>・9月 川崎区企業市民交流事業</li> <li>・9月 会報発行（第28号）</li> <li>・10月 市民交流事業 市民見学会（昭和電工(株)川崎事業所、信号機材(株)）</li> <li>・10月 臨海コンビナート都市連携シンポジウム 2017（第8回）</li> <li>・11月 政策懇談会</li> <li>・12月 会報発行</li> <li>・1月 循環型地域社会の形成に向けた環境産業との連携に関する連絡会議</li> <li>・2月 川崎国際環境技術展 2018</li> <li>・3月 政策懇談会</li> <li>・3月 第2回川崎臨海部再生リエゾン推進協議会</li> <li>・3月 会報発行</li> </ul>



	<b>【団体会員 19 社、個人会員 13 名、賛助会員 2 社】</b>
2018 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4 月 川崎市・NPO による定例情報交換会の実施(月 1 回)</li> <li>・ 4 月 第 1 回リエゾン交流会 (J X T G エネルギー(株)横浜綱島水素ステーション・スイソテラス)</li> <li>・ 4 月 臨海部活性化(臨海部ビジョン)研究会(ほぼ毎月 年間 11 回開催)</li> <li>・ 5 月 第 14 回通常総会</li> <li>・ 6 月 市民交流事業 第 6 回エコ・クロスマッチング</li> <li>・ 7 月 第 1 回川崎臨海部再生リエゾン推進協議会</li> <li>・ 8 月 市民交流事業 夏休み親子見学会</li> <li>・ 8 月 川崎区企業市民交流事業</li> <li>・ 8 月 第 2 回リエゾン交流会 (日本電気(株)玉川事業場 9 号館・川崎市コンベンションホール)</li> <li>・ 9 月 第 1 回川崎臨海部道路等に関する企業・行政懇談会</li> <li>・ 9 月 会報発行 (第 31 号)</li> <li>・ 10 月 市民交流事業 市民見学会</li> <li>・ 10 月 臨海コンビナート都市連携シンポジウム 2018</li> <li>・ 11 月 政策懇談会</li> <li>・ 12 月 会報発行 (第 32 号)</li> <li>・ 1 月 第 3 回リエゾン交流会</li> <li>・ 2 月 川崎国際環境技術展 2019</li> <li>・ 2 月 循環型地域社会の形成に向けた環境産業との連携に関する連絡会議</li> <li>・ 2 月 第 2 回川崎臨海部活性化推進協議会 (川崎臨海部再生リエゾン推進協議会)</li> <li>・ 3 月 政策懇談会</li> <li>・ 3 月 会報発行(第 33 号)</li> </ul>
	<b>【団体会員 21 社、個人会員 14 名、賛助会員 2 社】</b>
2019 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4 月 川崎市・リエゾンセンター定例情報交換会(毎月開催)</li> <li>・ 4 月 第 1 回リエゾン交流会(東京ガス(株)扇島パワー・扇島 LNG 基地)</li> <li>・ 4 月 「臨海部ビジョン」リエゾン研究会(ほぼ毎月 10 回開催)</li> <li>・ 4 月 循環型地域社会の形成に向けた環境産業との連携に関する連絡会議(浮島処理センター視察)</li> <li>・ 5 月 第 15 回通常総会</li> <li>・ 8 月 市民交流事業 夏休み親子見学会(エコ暮らし未来館、三菱ふそうトラック・バス)</li> <li>・ 8 月 川崎区企業市民交流事業 【川崎駅東口駅前】</li> <li>・ 8 月 第 2 回リエゾン交流会 【JERA 川崎火力発電所】</li> <li>・ 9 月 第 1 回川崎臨海部活性化推進協議会</li> <li>・ 9 月 会報発行 (第 34 号)</li> <li>・ 10 月 市民交流事業 市民見学会</li> <li>・ 10 月 政策懇談会</li> <li>・ 11 月 川崎国際環境技術展</li> <li>・ 11 月 臨海コンビナート都市連携シンポジウム 2019</li> <li>・ 11 月 第 1 回川崎臨海部道路等に関する企業・行政懇談会</li> <li>・ 11 月 エネルギー効率化先進施設見学会(相模原 東急建設技術研究所)</li> <li>・ 1 月 第 3 回リエゾン交流会</li> <li>・ 2 月 循環型地域社会の形成に向けた環境産業との連携に関する連絡会議</li> <li>・ 3 月 政策懇談会</li> <li>・ 3 月 第 2 回川崎臨海部活性化推進協議会</li> <li>・ 3 月 会報発行 (第 35 号)</li> </ul>
	<b>【団体会員 19 社、個人会員 17 名、賛助会員 2 社】</b>

2020 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月 第1回川崎市・リエゾンセンター定例情報交換 (新型コロナウイルス感染拡大防止のためメールにて情報提供をする方式に変更した)</li> <li>・5月 幹事会(当年度はWeb ミーティング方式により7回開催)</li> <li>・5月 第16回通常総会 書面表決方式により開催</li> <li>・6月 「臨海部ビジョン」リエゾン研究会 (Web ミーティング方式とリアル開催を組み合わせで開催 8回開催)</li> <li>・9月 会報発行(第37号)</li> <li>・10月 第1回川崎臨海部活性化推進協議会開催(LiSE会議室 オンライン聴講も併用)</li> <li>・10月 川崎臨海部道路等に関する企業・行政懇談会開催</li> <li>・10月 循環型地域社会の形成に向けた環境産業との連携に関する連絡会議開催</li> <li>・10月 スマートコンビナート・シンポジウム開催(川崎市産業振興会館大ホール) Webによるライブ中継(会場出席41名 オンライン受講(申込)者135名)</li> <li>・11月 政策懇談会開催(川崎市産業振興会館大ホール)</li> <li>・11月 川崎区企業市民交流事業 川崎駅東口 ル・フロンに出展</li> <li>・12月 会報発行(第38号)</li> <li>・1月 川崎国際環境技術展(オンライン展示会)</li> <li>・2月 第1回リエゾン交流会(オンラインによる脱水素実証施設説明会)</li> <li>・3月 政策懇談会</li> <li>・3月 第2回川崎臨海部活性化推進協議会</li> <li>・3月 会報発行(第39号)</li> </ul> <p><b>【団体会員 19社、個人会員 16名、賛助会員 2社】</b></p>
2021 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月 第1回リエゾン交流視察会(新川崎創造のもり ロボット・IoT ベンチャー企業 イクシス社他)</li> <li>・4月 第1回川崎市・リエゾンセンター情報交換会開催(※第2回以降は毎月メール発信にて情報共有)</li> <li>・4月 幹事会(オンライン及びリアル開催を組み合わせ年間7回開催)</li> <li>・5月 第17回通常総会開催</li> <li>・8月 市民交流事業 夏休みオンライン親子工場見学会を開催(㈱クレハ環境が受入れ協力)</li> <li>・8月 第1回リエゾン研究会開催(オンライン) 東京電力パワーグリッド(株)、総合警備保障(株)話題提供</li> <li>・9月 第2回リエゾン研究会(オンライン)開催 ㈱クレハ環境より話題提供</li> <li>・10月 第1回川崎臨海部活性化推進協議会開催</li> <li>・10月 川崎臨海部道路等に関する企業・行政懇談会(オンライン)開催</li> <li>・10月 川崎市港湾整備負担金に伴う環境整備事業説明会(オンライン)開催</li> <li>・10月 スマートコンビナート・シンポジウム2021 オンライン方式で開催</li> <li>・11月 政策懇談会をオンライン方式で開催</li> <li>・11月 第14回国際環境技術展(オンライン)に出展</li> <li>・11月 川崎区企業市民交流事業推進委員会主催「かわさき市民交流 Day」に出展</li> <li>・11月 循環型地域社会形成に向けた環境産業との連携連絡会議(オンライン方式で開催)</li> <li>・12月 第3回リエゾン研究会(オンライン)開催 東京ガス(株)より話題提供</li> <li>・12月 会報発行(第41号)</li> <li>・2月 第4回リエゾン研究会(オンライン)開催 JFEエンジニアリングより話題提供</li> <li>・3月 第5回リエゾン研究会(オンライン)開催 浜銀総合研究所より話題提供</li> <li>・3月 第2回川崎臨海部活性化推進協議会開催予定</li> <li>・3月 政策懇談会をオンライン方式により開催</li> <li>・3月 会報発行(第42号)</li> </ul> <p><b>【団体会員 19社、個人会員 15名、賛助会員 2社】</b></p>

2022 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月 NPO 会員並びに川崎市関係局職員向けメールニュースの配信(毎月)</li> <li>・4月 第1回川崎市・リエゾンセンター定例情報交換会</li> <li>・4月 第1回リエゾン交流会 (JFE スチール(株)京浜製鉄所東扇島視察)</li> <li>・5月 第18回通常総会</li> <li>・7月 川崎市主催「製造現場における DX 及び脱炭素化促進講座」に協力</li> <li>・7月 第2回リエゾン交流会 (羽田イノベーションシティ視察)</li> <li>・7月 会報(第43号)を発行</li> <li>・9月～10月 川崎市主催「製造現場の安全管理講座前期」(全4回)を共催</li> <li>・9月 リエゾン研究会(「臨海部ビジョン」リーディングプロジェクト改定に向けた意見交換)</li> <li>・10月 第1回川崎臨海部活性化推進協議会</li> <li>・10月 コンビナート都市連携シンポジウム 2022 開催</li> <li>・11月 川崎臨海部道路等に関する企業・行政懇談会</li> <li>・11月 港湾整備負担金に伴う環境整備事業説明会</li> <li>・11月 政策懇談会</li> <li>・11月 臨海部企業交流イベント(味の素、ナノ医療イノベーションセンター施設見学会)</li> <li>・11月 循環型地域社会の形成に向けた環境産業との連携に関する連絡会議</li> <li>・11月 第15回川崎国際環境技術展に出展</li> <li>・11月 臨海部立地従業員を対象としたオンライン・ウォークイベントを開催</li> <li>・11月 第3回リエゾン交流会(オンライン)(東亜石油によるドローン活用による保安業務の実証実験結果)</li> <li>・11月 知ろう・学ぼう かわさき企業市民交流 DAY (会場はルフロン)に出展</li> <li>・12月 会報発行(第44号)</li> <li>・1月～2月 川崎市主催「製造現場の安全管理講座後期(全4回)」を共催</li> <li>・2月 政策懇談会</li> <li>・3月 第2回川崎臨海部活性化推進協議会</li> <li>・3月 会報発行(第45号)</li> </ul> <p><b>【団体会員 19社、個人会員 16名、賛助会員 2社】</b></p>
2023 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月 川崎市関係局との情報交換会</li> <li>・4月 第1回リエゾン研究会</li> <li>・4月 川崎市共催火災爆発体験講習会(午前座学、午後調布市の消防庁消防研究センターで施設見学)</li> <li>・5月 第19回通常総会</li> <li>・7月 第2回リエゾン研究会(東京ガスネットワーク(株)技術研究所等視察)</li> <li>・8月 第3回リエゾン研究会(JFE スチール(株)南渡田地区視察)</li> <li>・3月 会報発行(第46号)</li> <li>・10月 第1回川崎臨海部活性化推進協議会</li> <li>・10月 第14回都市連携コンビナートシンポジウム</li> <li>・11月 政策懇談会</li> <li>・11月 川崎国際環境技術展 出展</li> <li>・11月 臨海部企業の人材育成講座・新技術導入講座(川崎市主催 開催場所:ENEOS(株)川崎製油所)</li> <li>・11月 かわさき企業市民交流 Day に出展</li> <li>・12月 臨海部企業の人材育成講座・火災爆発講習</li> <li>・12月 会報発行(第47号)</li> <li>・1月 臨海部企業の人材育成講座・管理者層向け安全管理講座</li> <li>・1月 環境産業との連携連絡会議(廃棄物施設見学会 JFE アーバンリサイクル(株)家電リサイクル工場・J&amp;T 環境(株)ペットボトル工場)</li> <li>・2月 政策懇談会(川崎市産業振興会館9階研修室)</li> <li>・2月 企業間交流イベント(川崎市主催 川崎港から船での臨海部視察)</li> <li>・2月 第4回リエゾン研究会:ENSOS(株)視察</li> <li>・3月 臨海部道路懇談会</li> <li>・3月 第2回川崎臨海部活性化推進協議会</li> <li>・3月 会報発行(第48号)</li> </ul> <p><b>【団体会員 19社、個人会員 15名、賛助会員 2社】</b></p>

# 川崎臨海部

かわさきりんかいぶ

会員企業・行政・市民

LCIE

連携

かいいんきぎょう・ぎょうせい・しみん

れんけい

リエゾンセンター

## LCIEの20年のあゆみ

令和6年5月

特定非営利活動法人 産業・環境創造リエゾンセンター

(英語表記)Liaison Center for Creation of Industry & Environment

- 所在地 〒212-0013  
川崎市幸区堀川町 66-20 川崎市産業振興会館 12階
- 電話番号/ FAX TEL. 044-522-5455 FAX 044-522-5455
- メールアドレス npo\_lcie@helen.ocn.ne.jp
- WEB サイト <http://www.lcie-npo.jp/index.html>

設立 2004年8月

代表者 理事長 足立 芳寛